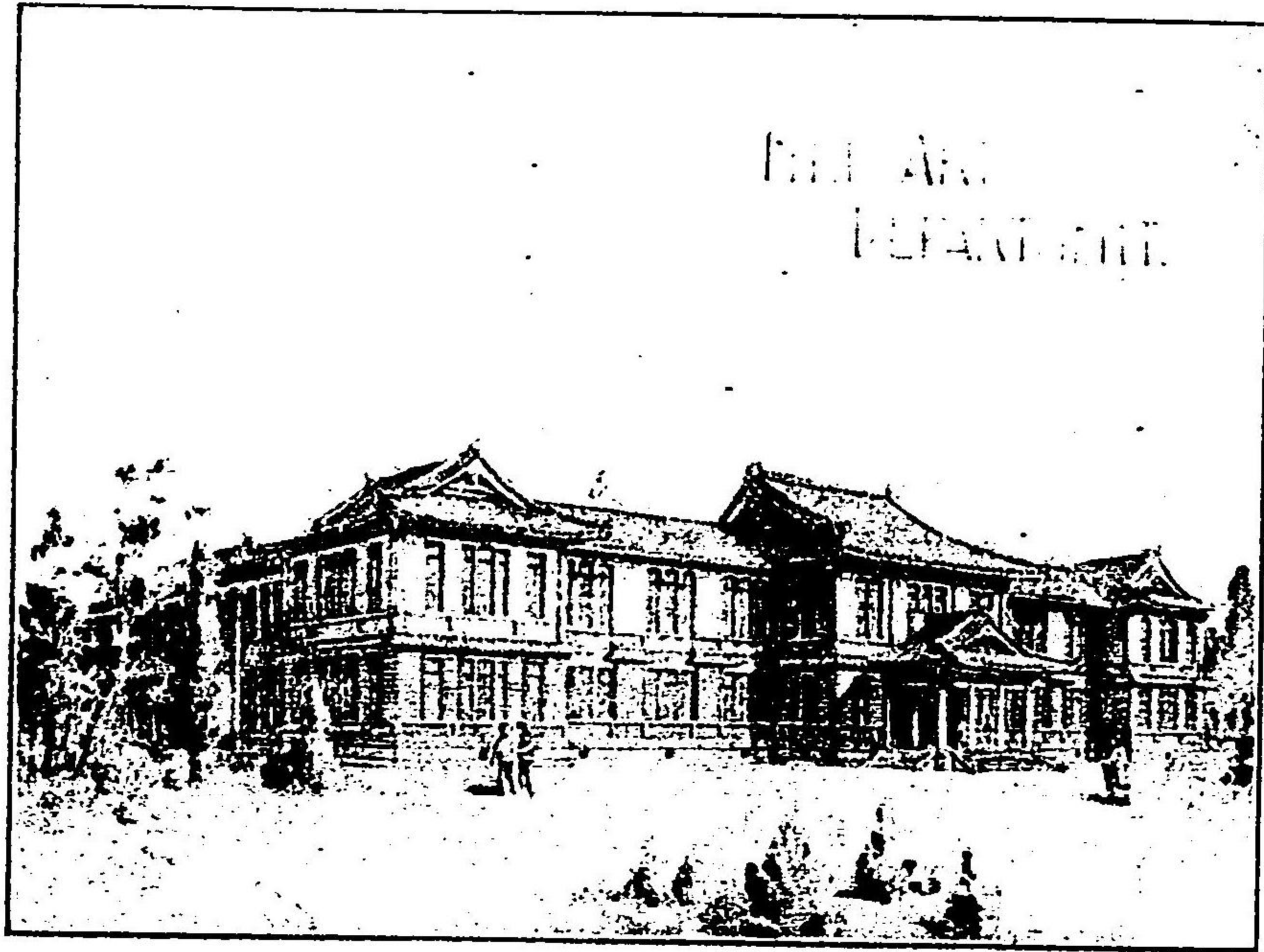


工56-68

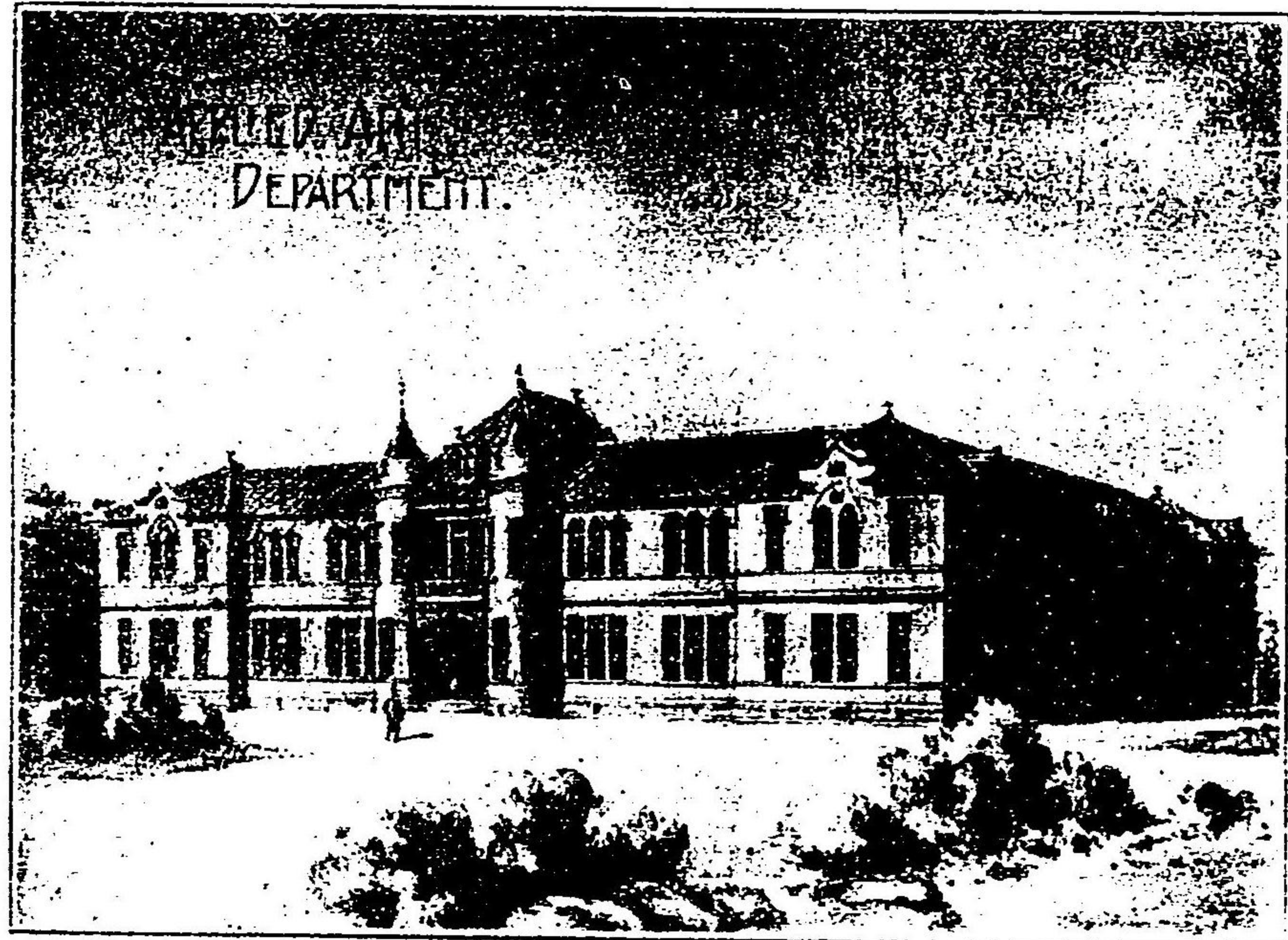
272
7

東京美術學校一覽

從明治四十三年  
至明治四十四年



圖計設面正校學術美京東の中築建



圖面正舍校科工漆、造鑄、工金、按圖

東京美術學校一覽目次

本校校舍教室等寫真	十二圖	授業料及其他ノ費用	五五
學年曆	一	諸書式	五六
概要	三	各科授業要旨	六五
沿革略	七	生徒心得	八〇
法令	一三	東京美術學校文庫規則	八四
商議委員規程	二六	職員	八八
東京美術學校規則	二七	生徒姓名	九六
總則	二七	特待生姓名	一〇八
學科課程	二八	卒業生姓名	一一九
學年學期及休業規程	三八	各科生徒道府縣別現員表	一一〇
入學在學及退學規程	三九	各科卒業生道府縣別表	一一一
特待生規程	四三	各科卒業生年別人員表	一一四
休業規程	四三	各科卒業生道府縣別表	一一六
試驗規程	四四	敷地及建物	一八七
圖畫師範科規程	四五	東京美術學校校友會規則	一九〇
研究科規程	四九	敷地及建物略圖	一九一
撰科規程	五二		
臨講生規程	五四		



室 教 科 畫 本 日

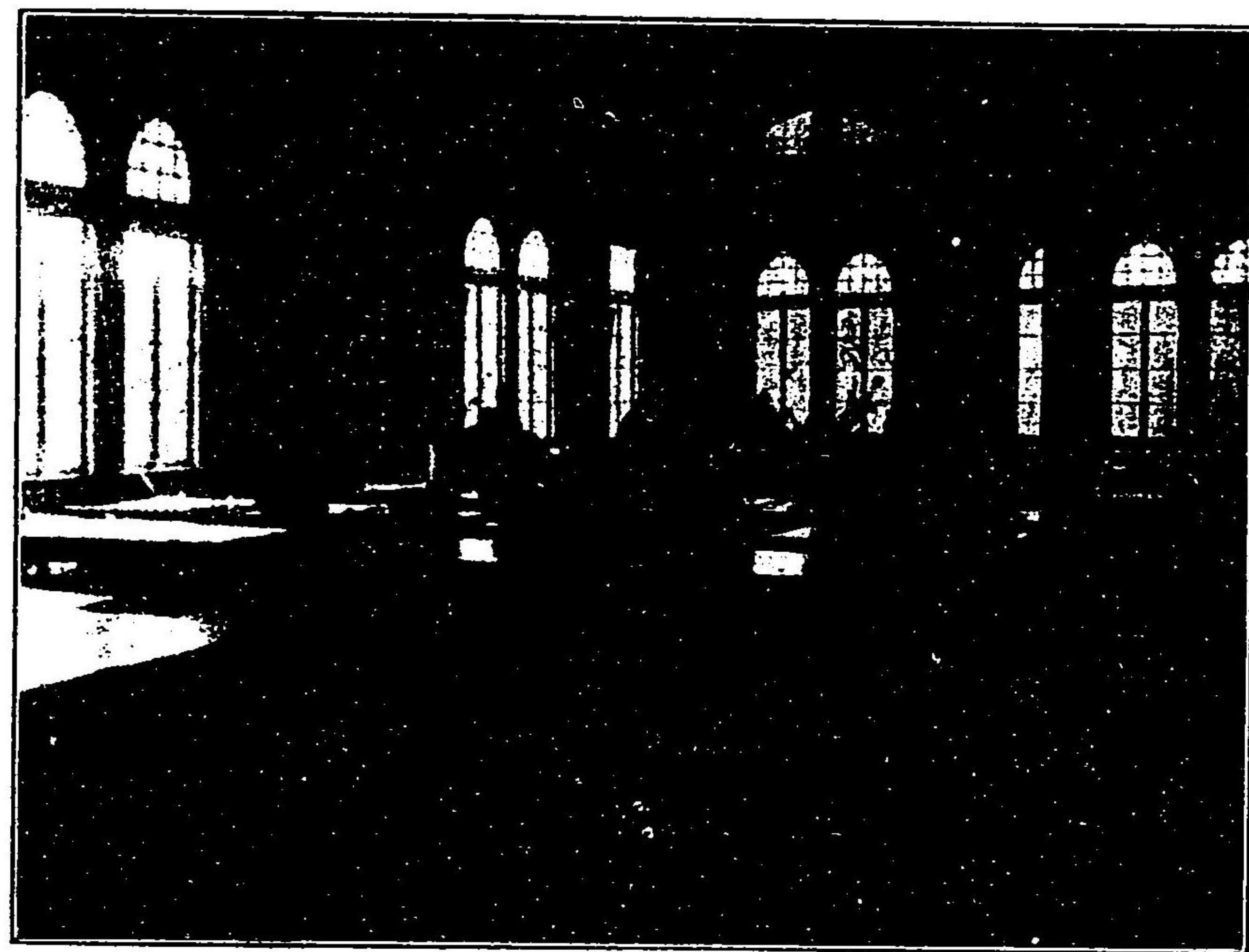


室 教 繪 油 科 畫 洋 西

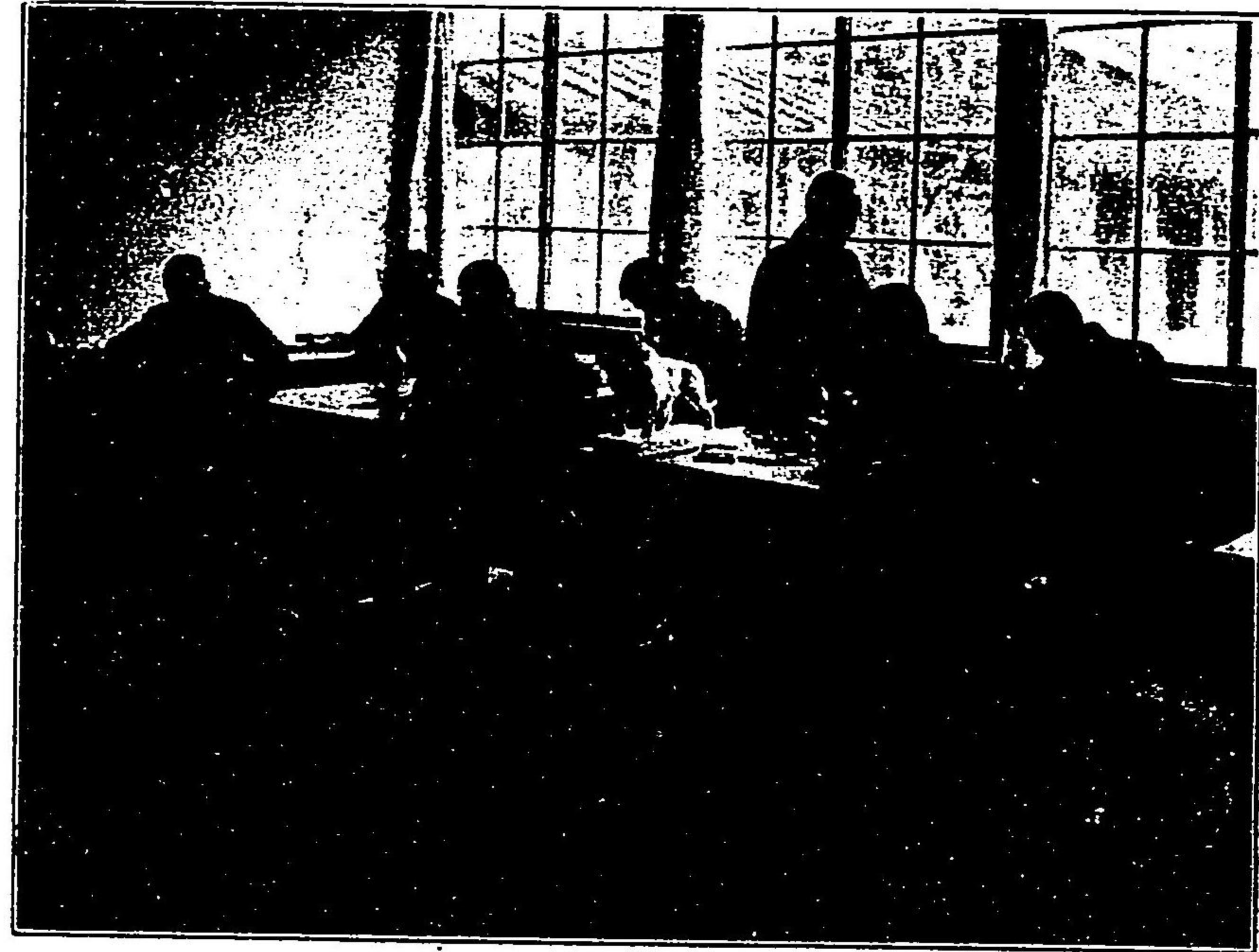
1937  
1937



彫刻科塑造教室



圖按科圖按教室



室 教 金 彫 科 工 金



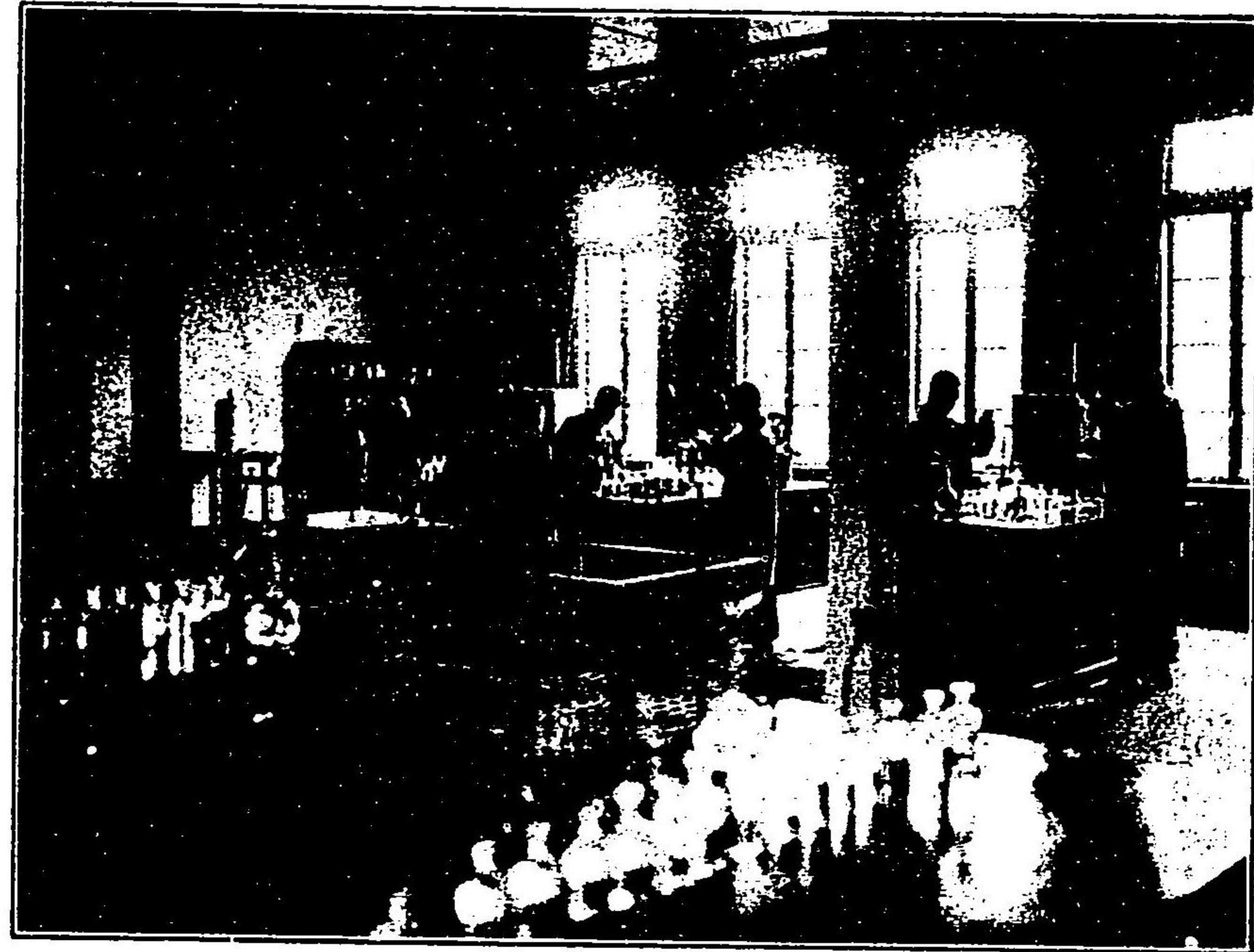
場 工 造 鑄 科 造 鑄



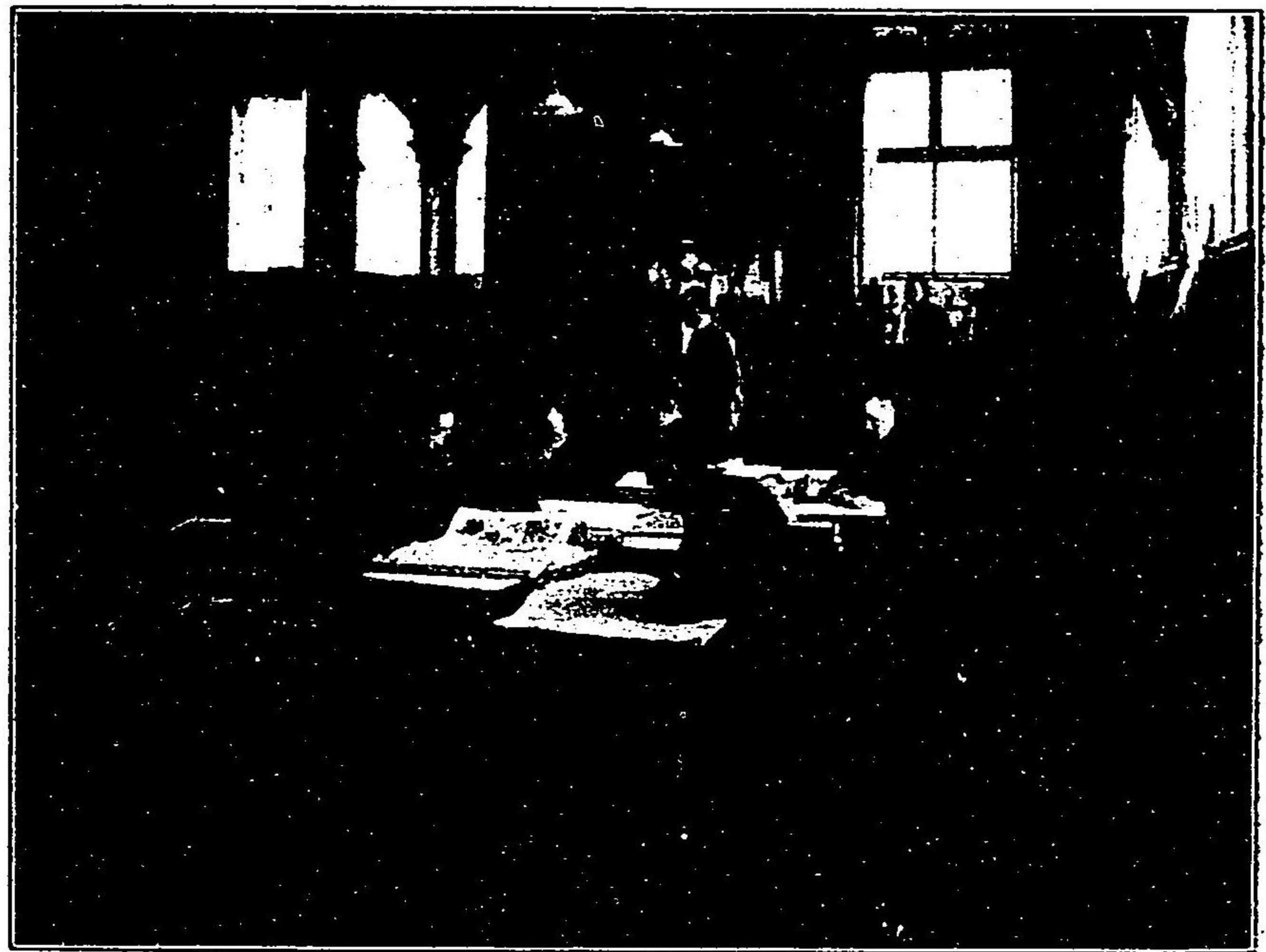
漆工科時繪教室



圖畫師範科教室



室 教 習 實 學 化 藝 工



室 覽 閱 庫 文

292-7

東京美術學校一覽

明治四十三年ヨリ明治四十四年ニ至ル

九月十一日

秋分

十月四日

十月十七日

十一月三日

十二月二十三日

十二月二十四日

十二月廿五日ヨリ一月七日マテ

一月二十日

二月十一日

學年始マル

休業(秋季皇靈祭)

休業(本校設置紀念日)

休業(神嘗祭)

休業(天長節)

休業(新嘗祭)

第一學期了ル

冬季休業

休業(孝明天皇祭)

休業(紀元節)

明治  
44. 2. 24  
寄贈

學年曆

寄贈本



春分

三月上旬ヨリ同月中旬マテ  
 休業(春季皇靈祭)  
 豫備科入學志願者ノ入學願書ヲ受理ス  
 圖畫師範科入學志願者ノ薦舉書ヲ受理ス  
 第二學期了ル

三月下旬  
 卒業證書授與式ヲ行フ

四月三日  
 休業(神武天皇祭)

四月一日ヨリ同月七日マテ  
 春季休業

四月中旬ヨリ  
 豫備科及圖畫師範科新入生ノ授業始マル  
 學年試験ヲ施行ス

六月中旬ヨリ  
 豫備科授業終リ本科入學許否ヲ定ム

六月下旬  
 第三學期了リ學年終ル

七月十日  
 夏季休業

七月十一日ヨリ九月十日マテ  
 撰科生ノ入學及聽講生ニ關シテハ隨時本校ヨリ之ヲ公告ス

概要

本校ハ明治二十一年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ設置セラレタルモノニシテ其設備、組織、敷地、建物等ノ詳細ハ別ニ記スル所ノ如クナレトモ今其概要ヲ舉クルハ左ノ如シ

位置 本校ハ文部省直轄學校ノ一ニシテ東京市下谷區上野公園西四軒寺跡ニ在リ

敷地及建物 本校ノ敷地面積ハ壹萬六千五百五拾四坪六合四勺ニシテ此ニ建設セル建物ノ總坪數ハ參千六百五拾六坪貳合八勺ナリ

教旨及分科 本校ハ美術及美術工藝ニ從事スヘキ專門技術家並ニ普通教育ニ於ケル圖畫教員タルヘキモノヲ養成スル所ニシテ前者ノ分科ハ日本畫、西洋畫、彫刻、圖按、金工、鑄造、漆工ノ七科トシ其修業年限ハ豫備科及本科ヲ通シ各五ケ年ニシテ各自ノ志望ニ由リテ此中ノ一科ヲ專修セシム即豫備科ハ四月ヨリ七月迄、本科ハ

九月ヨリ翌年七月迄ヲ一學年トシ最後(五ケ年目)ノ卒業期ハ九月ヨリ三月迄ノ二學期トス後者ハ之ヲ圖書師範科ト稱シ其修業年限ヲ三ケ年トシ師範學校其他ノ學校ニ於ル圖書教員タルニ適スル學科ヲ履修セシム此他撰科ヲ置キテ專ラ實技ノミヲ教ヘ各科卒業生ニシテ尙其技術ヲ研究セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ置キ本校生徒以外ノ者ニシテ本校講授ノ學科ヲ聞カントスルモノ、爲ニ聽講生ノ規程ヲ設ク入學 本校各専門ノ科ニ入學セントスルモノハ豫備科入學、本科入學ノ二途ノ一ニ由ルヘキモノトス即チ豫備科入學ハ規則第十條ニ規定セル中學校師範學校卒業者又ハ專門學校入學者試驗檢定ニ合格シタルモノ、檢定規程ニ依リテ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者、工業學校卒業者等トシ本人ノ願ニ依リ毎年四月無試驗ニテ入學ヲ許ス其入學志願者募集人員ニ超過シタルトキハ撰拔試驗ヲ施スヘシ而シテ又本科入學ハ總テ豫備科ニ於ケル最後ノ試驗ニ合格シタルモノヨリ毎年九月ニ於テ之ヲ許シ不合格ノモノハ本校在學ノ資格ヲ失フ

圖書師範科入學ハ其資格略々専門ノ科ニ入學スヘキモノト同シクシテ地方長官ニ於テ薦舉シ其中ニ就キ毎年四月試驗ノ上學校長之ヲ撰拔ス此科ノ生徒ニハ學資トシテ毎月金六圓ヲ給ス  
撰科入學ハ本科生ニ缺員アル場合ニ於テ規則第八十一條ノ規程ニ依リ所撰課目ノ實技試驗及學科試驗(又ハ檢定)ヲナシ本人ノ願ニ依リ大抵毎年九月ニ於テ入學ヲ許ス  
其他研究生ハ本校ヲ卒業シタルモノ、中本人ノ願ニ依リテ入學ヲ許シ聽講生モ亦本人ノ願ニ基キテ聽講ヲ許スモノトス  
教務ノ分擔 各科教務ノ整理ヲ圖ル爲教務分擔內規ヲ設ケ各科教員中ニ主任ヲ置キ其下ニ擔任ヲ置キ教室內ノ秩序生徒ノ勤惰其他教室ニ於ケル教務ヲ分擔セシム  
商議委員 本校重要ノ事件ヲ商議スル爲商議委員ヲ置ク學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ス其人員ハ三名以上七名以下ニシテ任期ハ五ケ年ナリ

職員 職員ノ定員ハ別ニ記スル所ノ如シ而シテ其現在員ヲ舉クレハ學校長一人、教授二十二人、助教授十八人、(外ニ海外留學一人)囑託十六人、副科囑託三人、雇(助手)七人、書記五人、雇九人ニシテ外ニ休職員ハ教授三人アリ

留學生 留學生ハ助教授一人ニシテ佛國ニ留學中ナリ

卒業生及生徒 卒業生ハ明治二十二年二月授業ヲ開始セシ以來同二十四年七月初メテ特別ノ課程卒業生ヲ出シ同二十六年七月ニ至リ本科卒業生ヲ出シタルヨリ本年ニ至ルマテ各科ヲ通シ八百五十九人ニシテ現今生徒ノ數ハ合計四百九十九人ナリ

其詳細ハ別ニ記スル所ノ如シ

經費 明治四十三年度ノ經費ハ政府支出金七萬貳千貳百四拾五圓、諸收入ハ金壹萬六百五拾壹圓、實驗製品收入ハ金六萬七拾五圓ニシテ合計金拾四萬貳千九百七拾壹圓ナリ

文庫 文庫ハ本校授業上ノ參考ニ資スルタメ美術及美術工藝品並ニ之ニ關スル圖書

標本ヲ收藏スル所ニシテ本校職員卒業生生徒ハ勿論相當ノ紹介アル技術家若クハ有志ノモノニハ無料ニテ收藏品ノ閲覽ヲ許セリ

### 沿革略

明治二十一年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ始メテ東京美術學校ヲ設置セラル是ヨリ先明治十七年七月文部省専門普通兩學務局ニ於テ委員ヲ設ケ圖書教育ニ關スル事項ヲ調査セシメ延イテ翌十八年十一月ニ至リ學務一局(故ノ専門學務局)ニ圖書取調掛ヲ置キ尋イデ是ヲ總務局ニ移シ終ニ此圖書取調掛ヲ以テ東京美術學校トナス此時假リニ事務所ヲ小石川帝國大學附屬植物園内ニ置キ專ラ學校設立ノ準備ヲナシ二十一年十二月上野公園内ナル教育博物館ノ迹ニ移ス今ノ處即チ是ナリ此ニ於テ生徒ヲ募集シ二十二年二月一日授業ヲ開始ス濱尾新校長タリ其學科課程ハ普通科二年專修科三年ニシテ普通科ノ實技ハ繪畫、造型ノ二者ヲ兼修セシメ專修科ニハ繪畫、彫刻

及美術工藝ノ三科ヲ設ケ美術工藝科ノ中ニ更ニ金工、漆工ノ三部ヲ分置セリ而シテ別ニ特別ノ課程ニ年ヲ設ケ普通科ヲ卒業普通教育圖畫ノ教員タラムトスル者ニ課シタリ此中繪畫ハ日本畫ニ限リ造型トイヒ彫刻トイフハ唯木彫ヲ取リ金工ハ獨リ彫金ヲ用キタリ

明治二十三年六月二十七日幹事岡倉覺三代リテ校長心得トナリ同年十月七日校長ニ任セラル

明治二十五年十一月十九日規則ヲ改定シ普通科ヲ豫備ノ課程ト改稱シテ其年限ヲ一年トシ專修科ノ名ヲ廢シテ各本科ヲ四學年トシ美術工藝科ノ中ニ鑄金科ヲ新設シ又特別ノ課程ヲ廢シテ繪畫科中ニ於テ圖畫教員志望者ニ課スヘキ科目(用器畫法及教育學)ヲ設ケ又別ニ圖畫講習科ヲ置キテ普通教育ノ圖畫教員ニシテ尙其ノ技術又ハ圖畫ニ關スル學科ヲ補修セシトスルモノ、入學ヲ許ス

明治二十七年五月ヨリ繪畫科彫刻科ノ教授方法ヲ分期教授ノ制トナシ本邦美術史上

時代ニ依リテ著キ三種ノ様式アルニ基キ其各期ノ様式ヲ本トシテ教授セリ同年八月十日規則中學科課程ヲ改正シ同年十二月三日ニ至リテ復々規則中入學規程第九條但書ヲ改正ス

明治二十八年九月五日美術工藝科中ニ新ニ鑄金科ヲ増設ス

明治二十九年七月八日マタ規則ヲ改正シ豫備ノ課程ヲ甲乙ノ二種ニ分チテ之レニ課スル實技ニ差異ヲ立テ其甲種ヲ繪畫科、圖按科、蒔繪科ニ入ルモノニ課シ乙種ヲ彫刻科、鑄金科、鍛金科、彫金科ニ入ルモノニ課シ繪畫科中ニ日本畫ト西洋畫トノ二部ヲ設ケマタ圖按科ヲ新設ス

明治三十一年三月二十九日女子高等師範學校長高嶺秀夫兼務ヲ以テ代リテ校長タリ同年七月授業ノ方法ヲ改正シ日本畫科及彫刻科分期教授ノ制ヲ廢シテ日本畫科ノ實技ヲ臨摸、寫生、新按ノ三部トシ彫刻科ノ實技ヲ木彫及塑造ノ二部トシテ之レヲ修メシメ又西洋畫科ニ油畫教室一及木炭畫教室ヲ新設シ豫備乙種ニ課スル彫塑ヲ專ラ

塑造トシ其繪畫ヲ洋畫ノ素描トシ豫備甲種ノ繪畫ハ日本畫、圖按及漆工科ニ入ルヘキモノニ日本畫ヲ課シ西洋畫科ニ入ルヘキモノニ洋畫ノ素描ヲ課スルコト、シ圖按科ニ水彩畫ヲ傍修セシメ鑄金、彫金、鍛金科ニ塑造ヲ併課ス同年十二月二十二日帝國博物館主事兼理事久保田鼎兼務ヲ以テ代リテ校長心得トナル

明治三十二年九月彫刻科中ニ塑造科ヲ新設シ又木彫科ノ寫生ハ塑造土ヲ以テ學修セシム

明治三十三年一月十八日久保田鼎校長ニ任セラルル同年八月規則中圖書講習科規程ヲ改正ス同年十二月規則中豫備ノ課程ニ課スル學科ノ一部ト入學規程中第九條但書並ニ入學試驗課目中改正ス

明治三十四年二月規則中圖書講習科規程及授業料規定ヲ改正シ同年五月入學試驗料及同手數料ヲ改メ並ニ假入學生授業料ヲ定メ又彫刻科ノ學科課程ヲ改正シ同科中ノ分科ヲ廢ス同年八月九日文部視學官正木直彥代リテ校長トナル

明治三十七年八月十二日ヨリ同年十一月十四日マテ正木校長米國出張ニ付教授高村光雲校務ヲ代理ス

明治三十八年三月本校規則全部ヲ改正シ四月ヨリ七月ニ至ル間ノ假入學ノ制ヲ廢シテ豫備科ヲ置キ彫金鍛金ノ二科ヲ合シテ金工科トシ鑄金科ヲ鑄造科ト改メ而シテ豫備科及ヒ本科ヲ通シテ在學年限ヲ五ヶ年間トシ最後ノ二學期間ハ專ラ卒業製作ニ從事セシメ毎年三月ヲ以テ卒業ノ期トナセリ

明治三十九年五月舊帝國圖書館ノ煉瓦造三階建倉庫一棟木造二階建閱覽室一棟ヲ本校ニ借入ル、ノ約成リ同年七月本校文庫ヲ此ニ移ス同年九月ヨリ日本畫科ノ授業ヲ分チテ新館本館ノ二教室トシ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコト、ナセリ

明治四十年六月五日文部省令第十八號ヲ以テ圖書師範科ヲ増設セラレ省令第十九號ヲ以テ全科卒業者服務規程ヲ定メラレ全年七月本校規則ヲ改正シ圖書師範科ノ學科

目及規程ヲ加ヘ講習科規程ヲ廢セリ同年七月ヨリ本校新築並ニ改築ノ事業ニ著手ス蓋シ本校校舍ハ明治十年ニ建築シタル元教育博物館ノ建物ヲ以テ充テタルカ爲設備ニ不完全ナルノミナラス逐年朽腐破損甚シキヲ加フルカ故ニ茲ニ始メテ四ヶ年ノ繼續事業トシテ此計畫ヲ見ルニ至レリ同年十一月彫刻科ノ學科課程ヲ改メ同科ヲ分チテ塑造、木彫、牙彫ノ三部トナセリ

明治四十一年三月舊帝國圖書館敷地三千七百坪並ニ煉瓦造三階建倉庫、木造二階建閱覽室及煉瓦造二階建倉庫ヲ本校ニ移サル全年九月日本畫科ハ從來ニ教室ニ分チテ授業シタリシカ更ニ其制ヲ改メ第一、第二、第三ノ三教室ニ分チテ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコトトセリ  
明治四十二年六月新築中ナリシ圖按科、金工科、鑄造科、漆工科ノ一棟及化學教室ノ一棟落成シ全年九月ヨリ各其新築校舍ニ於テ授業ヲ開始セリ  
明治四十三年二月二日ヨリ全年十一月二十日マテ正木校長英國出張ニ付教授高村光

雲校務ヲ代理ス全年三月九日本校規則ノ一部ヲ改正シ全月十日文部省令第二號ヲ以テ圖畫師範科卒業生服務規程ヲ改正セラル全年十一月一日文部省令第二十七號ヲ以テ全科規程學科目中「倫理」ヲ「修身」ト改メラル  
以上ヲ本校沿革ノ概略トナス

### 法 令

○勅令第六十二號拔抄（明治三十六年三月二十七日發布）

#### 專 門 學 校 令

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於

テ之ヲ定ムヘシ但美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者、文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附 則

第十六條 千葉醫學專門學校、仙臺醫學專門學校、岡山醫學專門學校、金澤醫學專門學校、長崎醫學專門學校、東京外國語學校、東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

○勅令第八十六號拔抄(明治二十六年八月二十五日發布)

文部省直轄諸學校官制

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京美術學校(他校畧之)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長
- 教授
- 生徒監

助教授  
書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託

シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設タルコトアルヘシ

其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

○勅令第九十九號拔抄(明治三十五年三月二十八日發布)(以後ノ改正年月日略ス)

文部省直轄諸學校專任教員ノ定員左ノ如シ

東京美術學校

學 校 長	一 人
教 授	二十六人
助 教 授	二十一人
書 記	六 人

○勅令第三百二十四號拔抄(明治四十三年三月廿六日發布)

高等官官等俸給令



第十條中

文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アルモノハ二十七人ヲ限リ高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條 別表第二表(中畧)第五號ニ依ルモノハ高等官三等以下トス

第廿二條 別表第二表第五號ニ依ル諸官左ノ如シ

文部省直轄諸學校教授(他官畧之)

第廿三條中

別表第二表(中畧)第五號ニ依ル職員ハ一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アルモノニ限リ五百圓以内ノ年功加俸ヲ給シ(下畧)

第五號ニ依ル諸官及奏任技術官ハ各廳事務ノ繁閑ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトヲ得

(第一表)

文武高等官等表

文部省直轄諸學校長東京盲學校長、東京聾啞學校長ヲ除ク 二等乃至五等

(第二表第五號)

奏任文官年俸表

一級	三、〇〇〇	二級	二、七〇〇	三級	二、五〇〇	四級	二、二〇〇
五級	二、〇〇〇	六級	一、七〇〇	七級	一、五〇〇	八級	一、二〇〇
九級	一、一〇〇	十級	一、〇〇〇	十一級	八五〇	十二級	七五〇

(第五表)

文部省直轄諸學校長東京盲學校長、東京聾啞學校長ヲ除ク

一級	三、七〇〇	二級	三、〇〇〇	三級	二、七〇〇	四級	二、五〇〇
五級	二、二〇〇						

○勅令第五百五十四號拔抄(明治四十三年三月二十六日發布)

文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

○文部省令第十八號(明治四十年六月五日發布)(明治四十三年十一月一日省令第廿七號改正)

東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限、學科目及其ノ程度並入學ニ關スル規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科規程

第一條 東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 東京美術學校圖畫師範科ノ學科目ハ修身、教育學及教授法、美學及美術史、解剖學、圖案法、自在畫、幾何畫法、手工、習字、英語、教授練習及體操トス

第三條 前條各學科目ノ每週教授時間ハ左ノ如シ

學科目	每週教授時數		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
教育學及教授法	二	二	二
美學及美術史	二	二	二
解剖學	二		
圖案法		二	

自	在	一	九	一	九	一	八
幾	何	三	三	三	三	二	二
手	工	四	四	四	四	二	二
習	字	二	二	二	二		
英	語	二	二	二	二		
教	練					一	〇
體	操	二	二	二	二	二	二
合	計	三	九	三	九	三	九

學校長ハ臨時必要ト認メタル場合ニ於テハ前項各學科目ノ每週教授時數ヲ増減シ若ハ科外講義ヲ開クコトヲ得

第四條 東京美術學校圖畫師範科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ師範學校又ハ中學校ヲ卒業シタル者及專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者ニシテ年齡二十四年以下身體健全品行方正ナル男子ニ就キ地方長官之ヲ薦舉シ東京美術學校長其ノ中ヨリ試驗ノ上之ヲ定ム

必要ト認メタルトキハ東京美術學校長ハ前項地方長官ノ薦舉ニ依ラスシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第五條 生徒ニ缺員アルトキハ東京美術學校長ハ前條ノ資格ヲ有シ且當該學年ニ相當スル學力ヲ有スル者ニ就キ試驗ノ上入學ヲ許可スルコトヲ得

○文部省令第二號(明治四十三年三月十日發布)

明治四十年文部省令第十九號東京美術學校圖畫師範科卒業者服務規程ヲ改正スルコト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科卒業者服務規則

第一條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ五箇年

- 二 學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ二箇年
- 第二條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス
  - 一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ二箇年
  - 二 學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ一箇年
- 第三條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第一條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル者ハ其ノ理由ヲ具シ東京美術學校長又ハ地方長官ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
  - 前項ニ依リ出願シタル者アルトキハ東京美術學校長又ハ地方長官ハ事實ヲ審査シ意見ヲ具シテ願書ヲ進達スヘシ
- 第四條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アリタルトキハ文部大臣ノ指揮ニ依リ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ在學中ニ於

- ケル授業費及學資、學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
    - 一 第一條ノ義務ヲ履行セサル者
    - 二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者
  - 前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ
  - 第五條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ服務年限中研究科等ニ入學セムトスル者アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ
  - 第六條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ第三條ニ依リ其義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス
- 附 則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

本令施行以前ニ入學シタル者ノ服務年限ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

商議委員規程 (明治二十一年三月二十三日制定)

- 第一條 本校重要ノ事件ヲ商議スル爲、商議委員ヲ置ク
- 第二條 商議委員ハ三名以上七名以下トシ學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ス
- 第三條 商議委員會ノ會議ニ附スヘキモノハ學科課程重要ノ諸規則經費ノ豫算其他本校ノ利害ノ消長ニ關スル事項トス
- 但學校長ノ見込ニ依リ尙其他ノ事項ヲ會議ニ附スルコトヲ得
- 第四條 商議委員會ノ議案ハ學校長之ヲ提出スルモノトス
- 第五條 商議委員會ハ學校長ヲ以テ會長トシ委員半數以上出席スレハ議事ヲ結了スルコトヲ得
- 第六條 商議委員ハ五ヶ年ヲ以テ任期トス任期滿ツルノ後時宜ニ依リ更ニ勤續ヲ命

スルコトアルヘシ

東京美術學校規則 (明治四十年十一月改正)

目次

第一章 總則	第二章 學科課程
第三章 學年學期及休業規程	第四章 入學在學及退學規程
第五章 特待生規程	第六章 休學規程
第七章 試驗規程	第八章 圖書師範科規程
第九章 研究科規程	第十章 撰科規程
第十一章 聽講生規程	第十二章 授業料及其他ノ費用
第一章 總則	

第一條 本校ノ學科ハ日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖按科、金工科、鑄造科、漆工科及圖書師範科トス

日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖按科、金工科、鑄造科、漆工科ハ各専門ノ技術家ヲ養成スルヲ主旨トス

圖書師範科ハ師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タルヘキモノヲ養成スルヲ主旨トス

前項ノ外豫備科、研究科ヲ置ク

第二條 本校ノ修業年限ヲ定ムルコト左ノ如シ

圖書師範科ヲ除ク外各學科ハ豫備ヲ通シテ五箇年トシ入學ノ始ニ於テ一學期間豫備科ヲ履修セシメ最後ノ二學期間ハ専ラ卒業製作ニ從事セシム  
圖書師範科ハ三ヶ年トス

第二章 學科課程

第三條 豫備科、本科及圖書師範科ノ課目並ニ其程度左ノ如シ

豫備科

課目	每週教授時數
毛筆畫實習	八
木炭畫實習	八

塑造實習	八
用器畫法	八
歷史	三
外國語	二
體操	二
計	三九

備考 外國語ハ英語、佛語ノ中其一ヲ選擇セシメ本科ニ進入シタル後モ引續キ同一語學ヲ專修セシム

日本畫科

課目	每週教授時數			
	第一年	第二年	第三年	第四年
實習	三一	二九	三一	三三
解剖學	二	二		卒業製作
遠近法			二	
圖按法		二		

學科課程

課目	西洋畫科			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
美學及美術史	東洋繪畫史 二	東洋繪畫史 二	風俗史 二	美學 二
歷史及考古學				
外國語	二	二	二	二
用器畫法				(三)
水彩 木炭 鉛筆 畫法	(四)	(四)	(四)	(四)
教育學及教授法				(三)
體操	二	二	二	二
計	三九	三九	三九	三九

備考 表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス

課目	彫刻科			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
遠近法			西洋 二	
美學及美術史	西洋繪畫史 二	西洋繪畫史 二	西洋彫刻史 二	美學 二
歷史及考古學		西洋考古學 二	風俗史 二	
外國語	二	二	二	二
用器畫法				(三)
毛筆畫	(四)	(四)	(四)	(四)
教育學及教授法				(三)
體操	二	二	二	二
計	三九	三九	三九	三九

備考 表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス

金工科

備考	表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限り實習時間内ニ於テ之ヲ課ス	繪	圖	建	工	遠	美	外	用	教	體	計	
		畫	按	築	藝	近	學	國	器	育	操		
		九	法	學	製	法	術	語	畫	學	授		二
					作	法	史		法	法	法		二
					法		史						二
							東						二
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	

備考	彫刻科ヲ分テテ製造部、木彫部、牙彫部トシテ三者其一ヲ選擇シ同一ノ科目ヲ引續キ專修セシム	製造部ニハ製造ノミヲ、木彫部ニハ木彫及製造ヲ、牙彫部ニハ牙彫及製造ヲ課ス	木	牙	繪	解	遠	美	外	體	計		
			彫	彫	畫	剖	近	學	國	操			
			造	造	實	學	法	術	語				
			習	習	習	法	史	話					
一四	一四	一六	一五	一六	一五	一六	一五	一六	一五	一六	一五		



課目	每 週 教 授 時 數			
	第一 年	第二 年	第三 年	第四 年
彫金實習	二	一六	一二	一二
鍍金實習	一〇	一〇	八	八
鍍金實習	八		八	八
製造實習	八			
繪畫及圖按	四	四	四	四
圖按法		二		
金工史及製作法	製作法一	製作法二		金工史一
工藝化學		金屬及合金	實驗三	
外國語	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三九	三九	三九	三九
畢業製作	卒業製作			

鑄造科

課目	每 週 教 授 時 數			
	第一 年	第二 年	第三 年	第四 年
實習	二二	一八	二〇	二〇
製造實習	八			
蠟型實習		八	八	八
繪畫及圖按		四	四	四
圖按法		二		
金工史及製作法	製作法一	製作法二		金工史一
工藝化學		金屬及合金	實驗三	
機械學大意				
外國語	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三九	三九	三九	三九
畢業製作	卒業製作			

漆工科

課目	第一年度				第二年度				三年級
	每週	年	教	授	每週	年	教	授	
倫理	一	二	二	二	一	二	二	二	一
教育學及教授法	二	二	二	二	二	二	二	二	二
美學及美術史	二	二	二	二	二	二	二	二	二
解剖學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
圖按法	一九	二	二	二	一九	二	二	二	一八
自在畫	三	二	二	二	三	二	二	二	二
幾何畫法	四	二	二	二	四	二	二	二	二
手工	二	二	二	二	二	二	二	二	二
習字	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	二	二	二	二	二	二	二	二	二
教授練習	二	二	二	二	二	二	二	二	一〇
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
計	三九	二	二	二	三九	二	二	二	三九

圖畫師範科

課目	第一年度				第二年度				第三年度				第四年度				畢業製作
	每週	年	教	授	每週	年	教	授	每週	年	教	授	每週	年	教	授	
詩繪實習	三〇	二	二	二	二六	二	二	二	二六	二	二	二	二七	二	二	二	畢業製作
調漆實習	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
彫鏤實習	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
繪畫及圖按	四	二	二	二	四	二	二	二	四	二	二	二	四	二	二	二	畢業製作
圖按法	一	二	二	二	一	二	二	二	一	二	二	二	一	二	二	二	畢業製作
漆工史及製作法	製作法一	二	二	二	製作法一	二	二	二	漆工史一	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
歷史及考古學	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
工藝化學	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
外國語	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	畢業製作
計	三九	二	二	二	三九	二	二	二	三九	二	二	二	三九	二	二	二	畢業製作

第四條 臨時必要ト認ムル場合ニ於テハ第三條ノ每週教授時數ヲ増減シ若クハ科外講義ヲ開クコトアルヘシ

第三章 學年學期及休業規程

第五條 學年ハ九月十一日ニ始マリ七月十日ニ終ル

第六條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至ル

第二學期 一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三學期 四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第七條 授業ハ九月十一日ヨリ十一月十五日マテ及四月八日ヨリ七月十日マテハ毎日午前八時ニ始マリ午後四時ニ終リ十一月十六日ヨリ翌年三月三十一日マテハ午前八時三十分ニ始マリ午後四時ニ終ル

第八條 休業ハ冬季ハ十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ルニ週間、春季ハ四月一日

ヨリ七日ニ至ルニ週間、夏季ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ルニヶ月間トシ日曜日大祭日祝日及本校設置紀念日ハ休業ス

第四章 入學在學及退學規程

第九條 豫備科生徒入學ノ期ハ毎年四月ノ初トス

但シ其修業期間ハ一學期間トス

第十條 豫備科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身軀強健且左ノ資格ノ一ヲ具フル者トス

- 一 官公立中學校及徴兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル私立中學校卒業者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者
- 四 徴兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル工業學校卒業者
- 五 地方長官ノ許可ヲ得タル師範學校卒業者

第十一條 前條學校ニ在學中ノ生徒ニシテ三月末ニ卒業スヘキ見込アリト當該學校長ノ豫定證明スルモノニ限リ卒業生ニ準スルコトヲ得

但シ本條ニ依リシモノ卒業シタルトキハ隨時本校ニテ定ムル期限内ニ卒業試験成績證明表ヲ提出スヘシ若シ其ノ手續ヲナササルトキハ入學ノ資格ヲ失フモノトス

第十二條 入學志願者募集人員ニ超過スルトキハ選抜試験ヲ施スコトアルヘシ

第十三條 本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ豫備科ヲ修了シタル者トス

第十四條 入學ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金貳圓ヲ本校收入官吏ニ納付スヘシ但シ一旦納付シタル手数料ハ如何ナル事故アリト雖之ヲ返付セス

第十五條 入學ヲ出願スル者ハ入學願書(第一號書式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ差出スヘシ

一 學業履歷書(第二號書式)

一 當該學校長ノ卒業試験成績證明表又ハ試験檢定合格證書、高等學校入學ノ

豫備試験合格證書

一 學校醫又ハ其資格ヲ有スル醫師ノ身軀檢查書(第二號書式)

一 戶籍謄本

一 最近一年內ニ撮影セシ手札形寫眞(但半身脱帽ノモノタルヘク裏面ニ氏名及撮影ノ年月日ヲ漢字ヲ以テ明記スヘシ)

第十六條 第十條第五號ニ該當スルモノハ前條書類ノ外ニ地方長官ノ許可證ヲ添付スルコトヲ要ス

第十七條 生徒其ノ氏名ヲ變更シ又ハ其ノ居所ヲ轉シ若クハ改印シタルトキハ直ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第十八條 生徒ハ入學後一箇月以内ニ自費ヲ以テ本校制定ノ服帽ヲ調製著用スヘシ

第十九條 豫備科生徒ハ始業ノ日ヨリ凡一箇月後ニ於テ將來進入スヘキ志望ノ科ヲ定メメ届出ツヘシ

第二十條 生徒疾病其ノ他事故アリテ缺課スルトキハ其ノ理由及日限ヲ記シ當日又ハ翌日中ニ届出ツヘシ若シ病氣缺課七日以上ニ及フトキハ醫證ヲ添ヘ差出スヘシ

第二十一條 生徒ニシテ引續キ一箇年以上缺席シタル者又ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者ハ除名ス

第二十二條 生徒學業成達ノ目途ナキ者ハ除名ス

第二十三條 生徒怠惰不行狀又ハ本校ノ規則命令ニ背戾シ若クハ校ノ内外ヲ問ハス風紀ヲ紊ス等ノ行爲アルトキハ其ノ情狀ノ輕重ニ依リ譴責、停學、除名、逐學ニ處ス

第二十四條 生徒一學年間學業ヲ精勵シタルモノニハ證狀又ハ賞品ヲ與ヘテ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第二十五條 生徒疾病其ノ他ノ事故ニ依リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ疾病ニ由ル者ハ醫證ヲ添ヘ願出ツヘシ

第二十六條 生徒一旦退學セシ者再入學ヲ願出ツルトキハ退學當時ノ情狀ヲ調査シ學年ノ始メニ於テ原級以下ニ編入スルコトアルヘシ

第五章 特待生規程

第二十七條 學業品行殊ニ優等ナル生徒ヲ選ヒ之ヲ特待生トナシ一學年間ノ授業料ヲ免除ス

第二十八條 特待生ニシテ不都合ノ行爲アリタル時ハ直ニ特待生タルコトヲ止ム

第六章 休學規程

第二十九條 生徒正當ノ事故ニ由リ引續キ五箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ豫メ學校長ノ許可ヲ得テ其學年間休學スルコトヲ得

第三十條 休學セントスル生徒ハ事故ニ由ル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ病氣ノ者ハ醫證ヲ添ヘ願出ツヘシ

第三十一條 本規程ニ依リ休學スル生徒ヨリハ授業料ヲ徵收セス

第七章 試験規程

第三十二條 評點ヲ分チテ學期評點及學年評點トス

學期評點ハ每學期ニ試験ヲ行ヒテ之ヲ定メ學年評點ハ別ニ試験ヲ行ハス三學期ノ評點ヲ平均シテ之ヲ定ム

第三十三條 實技ノ學期評點ハ受特教員ノ見込ヲ以テ別ニ試験ヲ施サス平常ノ成績ニ依リテ之ヲ定ムルコトアルヘシ

第三十四條 評點ハ各課百點ヲ以テ最高點トス

第三十五條 學年評點ハ各課ヲ實技及學科ニ大別シ各別ニ得點ヲ平均シ更ニ之ヲ合計シテ二分シ六十點以上ヲ合格トス

但シ實技ノ成績一課目六十點ニ滿タス又ハ學科ノ成績一課目四十點ニ滿タサルハ共ニ不合格トス

第三十六條 不合格ノ爲原級ニ止マルトキハ六十點以上ヲ得タル學科ニ就キテハ其

ノ資格ヲ留保スヘシ

第三十七條 豫備科生徒ノ學期末ノ試験成績不合格ノ者ハ在學ノ資格ヲ失フモノトス

第三十八條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故アリテ試験ニ缺席スル者ハ一週間以内ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試験ヲ願出ツルトキハ平常課業ノ成績優等ノ者ニ限り之ヲ許スコトアルヘシ

第三十九條 毎年一回各科各學年ヲ通シテ競技ヲナサシメ優等ノモノニハ褒賞ヲ與フルコトアルヘシ

第四十條 卒業製作ヲ完成シ其ノ成績合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第八章 圖畫師範科規程

第四十一條 圖畫師範科ニ入學スルコトヲ得ルモノハ年齡滿二十四年以下ニシテ品行方正身體健全且左ノ資格ノ一ヲ具フル者ヨリ地方長官之ヲ薦舉シ其中ニ就キ試

驗ノ上選抜スルモノトス

一、道廳府縣師範學校卒業者

二、官公立私立中學校卒業者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者

第四十二條 前條ノ外必要ト認ムルトキハ地方長官ノ薦舉ニ依ラス資格アルモノヲ募集シ試験ノ上入學セシムルコトアルヘシ

第四十三條 入學志願者ノ選抜試験課目ハ隨時之ヲ定ム

第四十四條 在學中平時ニ在リテ兵役ニ服スヘキモノハ入學ヲ許サス

第四十五條 圖書師範科生徒募集ハ本校長ヨリ地方長官ニ通知スルモノトス

第四十六條 地方長官ニ於テ生徒ヲ薦舉スルトキハ薦舉書(第五號書式)入學願書

(第一號書式)履歷書(第二號書式)人物考定及學業成績表(第四號書式)身體檢查書

(第三號書式)戶籍謄本並ニ寫眞ヲ差出スヲ要ス

第四十七條 地方長官ノ薦舉ニ依ラサル入學志願者ハ薦舉書、人物考定書ヲ除キ直

ニ本校ニ願書ヲ差出スヘシ

第四十八條 本校規則第十一條ニ依ルモノニシテ卒業シタルトキハ地方長官ノ薦舉

ニ係ルモノハ地方長官ヨリ本人ノ願出ニ係ルモノハ本人ヨリ速ニ其旨ヲ本校長ニ

通知スルト共ニ學業成績表ヲ回送スヘシ

第四十九條 地方長官ノ薦舉ニ係ルモノヨリハ入學手数料ヲ徵收セス

第五十條 入學ヲ許可セラレタル生徒ハ直ニ保證人連署ノ誓書(第六號書式)ヲ差

出スヘシ

第五十一條 保證人轉住其他身上ニ異動ヲ生シタルトキハ連署ノ上速ニ其旨ヲ届出

ツヘシ

第五十二條 保證人死去シ又ハ海外ニ渡航シ若クハ其資格ヲ失フトキハ更ニ誓書ヲ

差出スヘシ

第五十二條 入學ヲ許可セラレタルモノ第一學期末ノ成績不良ナルトキ又ハ在學中疾病ニ罹リテ修學シ能ハサルモノハ退學ヲ命ス

第五十四條 生徒ニシテ病氣又ハ事故ノ爲メ一ヶ月以上引續キ缺席シ又ハ缺席スヘシト認ムルモノハ休學ヲ命ス

第五十五條 生徒ニハ學資トシテ一ヶ月金六圓ヲ支給ス

但シ私費生ト爲スコトアルヘシ

第五十六條 學資ハ入學ノ月ハ日割ヲ以テシ卒業ノ月ハ全額ヲ給ス

第五十七條 左ノ事項ニ該當スル場合ニハ學資ノ支給ヲ停止ス

一、私事ノ故障ニ依リ引續キ二週日以上缺席シタルトキハ二週日ヲ過キタル翌日ヨリ事故繼續中

二、疾病傷痍又ハ止ムヲ得スト認ムヘキ事故ニ依リ六十日以上缺席シタルトキハ六十日ヲ過キタル翌日ヨリ缺課中

三、停學中又ハ休學中

第五十八條 第五十三條ニ依リテ退學ヲ命シタルモノ、外在學中半途ニシテ退學スル者又ハ除名若クハ退學ヲ命セラレタルモノハ既ニ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ

但シ疾病傷痍又ハ酌量スヘキ事情アルトキハ償還スヘキ學資及授業費ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十九條 圖書師範科卒業生ニシテ研究科ニ入學セントスルモノアルトキハ時宜ニ依リ二學年以内ヲ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十條 第三章第四章第七章第九章第十二章ノ規程ニシテ本規程并ニ圖書師範科生徒ニ關スル諸規程ト抵觸ゼサルモノハ圖書師範科生徒ニ之ヲ準用ス

第九章 研究科規程

第六十一條 卒業生ニシテ既修ノ實技又ハ學課ニ就キ更ニ研究セントスル者ハ本規



一 程ニ依リ研究生タルコトヲ得

第六十二條 研究生ノ在學期限ハ三箇年以内トス

第六十三條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項ヲ具シテ願出ツ

ヘシ

第六十四條 入學ヲ許スヘキ研究生ノ年齢ハ滿二十八年以下トス

第六十五條 實技研究生ノ入學ヲ分チテ無試験入學及競技入學ノ二種トス

第六十六條 本科、撰科及圖書師範科卒業生ニシテ卒業後直ニ實技研究生トシテ入

學ヲ願出ツル者ハ卒業試験ニ於ケル實技ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ限り無試

験入學ヲ許ス

第六十七條 卒業生ニシテ前條ニ該當セサル者入學ヲ願出ツルトキハ每學年ノ始ニ

於テ入學競技ヲ行ヒ其ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ限り入學ヲ許ス

第六十八條 前二條ニ依リテ實技研究生ノ資格ヲ得タル者所定ノ人員ニ超過スルト

キハ更ニ競技ヲ行ヒ其成績順ニ依リ入學人員ヲ定ム

第六十九條 實技研究生所定ノ人員ニ缺クルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第七十條 實技研究生ニシテ入學競技ヲ受ケ二回マテノ間ニ於テ所定ノ點數ヲ得ル

能ハスシテ入學ヲ許可セラレサル者ハ爾後入學競技ニ加ハルコトヲ得ス

第七十一條 入學競技ニ要スル材料ハ總テ自辨トシ手数料ヲ徴收セス

第七十二條 入學競技ノ外每學期一回以上競技ヲ行フ

第七十三條 平常競技ノ成績一學年平均七十點ニ滿タサル者ハ研究生タルノ資格ヲ

失フ其ノ成績七十點以上八十點未滿ナル者ハ次學年ニ於テ更ニ入學競技ヲナサシ

メ在否ヲ定ム

第七十四條 平常競技ノ成績一學年ノ平均八十點以上ノ者ハ次學年ニ於テ引續キ在

學セシメ九十點以上ヲ得タル者ハ當該主任教授ノ推薦ニ依リ製作費ヲ給シテ特別

製作ヲナサシメ又ハ旅費ヲ給シテ研究旅行ヲナサシムルコトアルヘシ

第七十五條 卒業生ニシテ美術ニ關スル學術ヲ研究セント欲シ研究生トシテ入學ヲ願出ツル者アルトキハ當該主任及關係教員ノ會議ニ付シ本校ノ見込ニ依リ許否ヲ定ムルモノトス

第七十六條 研究科ヲ修メタル者ニハ證議ノ上其證狀ヲ付與ス

第七十七條 研究生ニシテ一箇月以上無届ニテ缺席シタル者ハ除名ス

第七十八條 何等ノ事故ニ拘ラス三箇月以上缺席スル者ハ研究生タルノ資格ヲ失フ

第七十九條 本規程ニ依リ除名セラレタル者及本校規則第二十三條ニ依リ除名セラレ又ハ退學ヲ命セラレタル者ハ再ヒ入學スルコトヲ許サス

第八十條 研究生ハ此ニ規定スルモノ、外ハ正科生ト同シク本校諸規程ヲ遵守スヘキモノトス

第十章 選科規程

第八十二條 各本科ノ課目中一課若クハ數課ノ實技ヲ選擇シテ學修セントスル者ハ

各級本科生ニ缺員アル場合ニ限り左ノ各號ニ該當スル者ハ撰科生トシテ入學ヲ許ス

一、年齡滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身體強健ナル者

一、所撰實技ノ試験ヲ受ケ合格シタル者

一、高等小學四年又ハ中學校二年修了以上ノ者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者

第八十二條 前條第三號末段ノ學力ハ本校ニ於テ左ノ學課ニ就キ試験ヲ施シテ之ヲ定ム

(一)讀 書 假名交リ文

(二)作文及書取 簡易ナル假名交リ文

(三)算 術 加減乗除

(四)歴 史 日本歴史ノ大要

第八十三條 繪畫彫刻ノ撰科生ハ實技ノ外解剖學遠近法ヲ學修スルコトヲ要ス

第八十四條 撰科生ハ所選ノ課目ニ就キ本科生ト同シク試験ヲ受ケ合格ノ者ニハ證書ヲ授與ス

第八十五條 撰科生ハ此ニ規定スルモノ、外本科生ト同シク本校諸規程ヲ遵守スヘキモノトス

第十一章 聽講生規程

第八十六條 生徒以外ノ者ニシテ本校ニ於テ講授スル學課目中一課若クハ數課ヲ選ビ學修セントスル者ハ相當ノ學業履歴アル者ニ限リ聽講生トシテ出席ヲ許ス

第八十七條 本校ハ每學年開始前ニ聽講ヲ許スヘキ學科目ヲ公示スヘシ

第八十八條 聽講生ハ一學年間に聽講料トシテ一課目ハ金五圓一課目ヲ増ス毎ニ金

參圓ヲ本校收入官吏ニ前納スヘシ

但シ一旦納付シタル聽講料ハ如何ナル事故アルモ返付セス

第八十九條 聽講生ハ本人ノ希望ニ依リ本科生ト同シク試験ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合ニハ合格者ニハ證書ヲ授與ス

第十二章 授業料及其他ノ費用

第九十條 授業料ハ一學年金貳拾圓ト定ム

研究生、圖書師範科生徒及實業學校教員養成規程ニ依レル學資補給生ヨリハ授業料ヲ徴收セス

第九十一條 授業料ハ毎年九月ハ金八圓ヲ二月四月ハ金六圓宛ヲ各其月ノ十五日ヨリ五日間ニ本校收入官吏ニ納付スヘシ

但シ一旦納付シタル授業料ハ如何ナル事故アルモ返付セス

第九十二條 授業料ハ疾病其ノ他自己ノ都合ニ依リ缺席シ又ハ停學ニ處セラレ、トアルモ本校ニ學籍ヲ有スル間ハ之ヲ徴收ス

第九十三條 特待生ニシテ第二十八條ノ處分ヲ受ケタルドキ又ハ休學中ノ生徒ニシテ學期ノ半ヨリ就學スルトキハ一箇月金貳圓ノ割ヲ以テ其月ヨリ授業料ヲ納付セ

シム

第九十四條 授業料ヲ納付期日ニ納メサル者ハ未納中停學ヲ命ス其ノ未納三週日ヲ超ユルトキハ除名ス

第九十五條 教科用ノ圖書、實習用ノ小道具、繪具、紙、筆及諸材料ハ總テ生徒ノ自辨トス

但シ實技上重要ノ器品等ハ本校ヨリ之ヲ貸付ス

第九十六條 本校ヨリ材料ヲ給シテ製作セシメタルトキハ其ノ生産品ハ本校ノ所有ニ歸スルモノトス

○第一號書式(用紙美濃紙ニツ折)

入學願書

私儀御校何科ニ入學仕度履歷書其他御規定ノ書類及手数料相添此段相願候也

住所

本籍族(戸主ニ非サレバ戸主トノ關係)

姓名印

年月日

明治何年何月何日生

東京美術學校校長某殿

備考 姓名ニハ假名ヲ附スヘシ

○第二號書式(用紙美濃紙ニツ折)

履歷書

住所

本籍族(戸主ニアラサレバ戸主トノ關係)

姓名

明治何年何月何日生

一 學 業

- 一 何年何月何々小學校卒業
- 一 何年何月ヨリ何地何某ニ就キ何學修業
- 一 何年何月ヨリ何立何々學校ニ入學ス
- 一 何年何月何立何々學校卒業ス
- 一 卒業證書等
- 一 何年何月何立何學校ニ於テ何科卒業證書ヲ受ク其寫別紙ノ如シ
- 一 何年何月何地何處ニ於テ何々免許狀ヲ受ク其寫別紙ノ如シ
- 一 兵 役
- 一 何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何師團何旅團何兵何聯隊ニ入ル等 (兵役ヲ免セラレタルモノハ其事由ヲ記スヘシ)
- 一 職務、職業

一 何年何月何地ニ於テ何職ヲ奉ス (俸給等記載スヘシ)

一 何年何月依願免官或ハ目下勤續中等

一 何年何月ヨリ何地ニ於テ何業ニ從事ス (其後ノ事モ記載スヘシ)

賞 罰

一 何年何月何日何所ニ於テ何事ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ケタル等  
右之通相違無之候也

右

年 月 日

姓

名 印

○ 第三號書式 (身體検査ハ文部省所定ノ方法ト器械トヲ用ヒ衛ハ)

キログラム、度ハセンチメートルニ依ルヘシ)

身 體 檢 査 書

住 所

本籍族 (戸主ニアラサレハ戸主トノ關係)

六十

<p>一體格</p> <p>一體重</p> <p>一視力<small>〔左右遠近視ノ度 色盲眼疾〕</small></p> <p>一聽力<small>〔障害ノ有無〕</small></p> <p>一齒牙</p> <p>一言語</p> <p>一身體異常ノ有無</p> <p>右検査致候處相違無之候也</p>	<p>一身長</p> <p>一胸圍<small>〔常時 空虛〕</small> 盈虛ノ差</p> <p>一脊柱</p> <p>一耳疾</p> <p>一呼吸器</p> <p>一疾病<small>〔既往及現在〕</small></p> <p>一神經系</p>
姓	姓
明治何年何月何日生	明治何年何月何日生
住所	住所
何學校醫	何學校醫

六十一

○第四號書式〔用紙美濃  
紙二ツ折〕

人物考定及學業成績表

<p>年 月 日</p> <p>一資性</p> <p>一志操</p> <p>一長所、短所</p>	<p>學位<small>〔又ハ 資格〕</small></p> <p>一品行</p> <p>一舉動</p>	<p>住所</p> <p>本籍族<small>〔戶主ニ非サレハ トノ關係〕</small></p> <p>姓 名</p> <p>明治何年何月何日生</p>	<p>學業成績表</p>
--	---	---	--------------

諸書式

試驗施行年月日	學年別	國語	漢文	何々	何々	何々	合計	平均	受驗人員	席次	及落	備考
明治 年 月 日	第一學年											
明治 年 月 日	第二學年											
明治 年 月 日	第三學年											
明治 年 月 日	第四學年											
明治 年 月 日	第五學年											

右本校在學中ノ人物考定及卒業成績(又ハ在學中ノ成績)前書ノ通ニ有之候也

年 月 日

何々學校長 姓

名 印

備考 在學中ノモノヲ薦舉スル場合ニ在テハ最終學年欄ニ最近學期ノ成績ヲ記入シ學年ノ成績ニ代フヘシ  
 直接本校へ願書ヲ差出スモノニ在リテハ人物考定書ハ要セサルモ成績表ハ之ニ做フモノトス

○第五號書式(用紙美濃紙ニツ折)

薦 舉 書

明治何年何月何々學校卒業(又ハ卒業スヘキ者)

何府縣族 何

某

生年月 明治何年何月何日生  
 年 齡 何年何ヶ月

右者將來圖畫教員タルノ志望ヲ有スルモノニシテ前記ノ學校ヲ卒業シ(又ハ卒業ス)學力優等品行方正ナル者ニ有之候間御校圖畫師範科へ入學御許可相成度別紙書類相添へ薦舉致候也

年 月 日

道廳長官府縣知事 何

某 印

東京美術學校長 某殿

○第六號書式(用紙美濃紙ニツ折)

三錢收入  
 印紙貼用

誓

書

私儀今般御校圖書師範科生徒トシテ入學御許可相成候ニ就テハ在學中御校規則ヲ遵守シ専心勉勵スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ卒業者服務規則ヲ服膺シ誓テ熱心教育ニ盡スヘク候仍リテ誓書如斯ニ候也

住 所

本籍族(戸主ニ非サレハ戸主トノ關係)

年 月 日

姓 名 印

明治何年何月何日生

前書之通相違無之候ニ付テハ御校御規則承知ノ上保證人ニ相立テ向後本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテハ一切引受ケ處理可致候也  
猶向後轉任改印其他身上ニ異動ヲ生シタルトキハ速ニ御届可申候也

住 所

本籍族

業 務

本人トノ關係

保 證 人 姓

名 印

何年何月何日生

年 月 日

東京美術學校校長某殿

前書保證人何某ハ肩書ノ所ニ住シ公民權ヲ有スル者ニ相違無之候也

年 月 日

何市町村長 姓

名 印

備考 保證人ハ必ス公民權ヲ有スルモノタルヘク又可成近親ノモノヲ選ヒ本校ノ認可ヲ受ケ

ヘシ

保證人ノ姓名ニハ假名ヲ附スヘシ

保證人ハ其姓名ヲ自書シ實印ヲ捺スヘシ

### 各科授業要旨

各科授業要旨



各科授業ノ要旨ハ茲ニ之ヲ述フルト雖素ヨリ其大要ヲ記スルニ過キス假令之ヲ細説スルモ實況ヲ見ルニアラスンハ隔靴搔痒ノ感アルヲ免レサルナリ故ニ詳細ヲ知ラントスルモノハ各科教室ニ於ケル授業ノ實況ヲ觀察シ又生徒ノ成績ニ考慮シ之ヲ會得スルノ外ナキナリ而シテ茲ニ一言シ置クヘキハ本校生徒教養ノ効果ナリ蓋シ藝術ハ終身ノ業ニシテ僅々數年ノ修養ヲ以テ能ク其効果ヲ收メントスルノ爲シ易カラサル事ハ何人モ知ル所タリ殊ニ名家鉅匠トシテ聲譽ヲ後昆ニ傳フルカ如キハ自ラ天稟ノ才能ト拔群ノ技術トヲ有スルモノニ非サルヨリハ得テ望ムヘカラサル事ニ屬ス然レトモ人各所長ノ在ルアリ好尚ノ存スルアリ故ニ本校教授ノ要旨ハ成ルヘク其人ノ長スル所ニ副ヒテ之ヲ發展進歩セシムルニ務ムト雖之ヲ約言スレハ本校ハ僅ニ五ケ年ヲ以テ卒業スル規定ナルヲ以テ茲ニ卒業ト稱スルハ唯技術上ノ端緒ト之ニ適切ナル學科トヲ修得シタルニ過キス技術ノ大成ノ如キハ各自カ本校ニ在リテ修得シタル素養ニ依リ尙精進不退轉ノ修練ニ埃ツノ外ナキナリ

豫備科

豫備科ハ本科ニ入ルノ豫備ニシテ必要ナル實技及學科ヲ學修セシムルモノトシ凡ソ三ケ月間學修セシメタル終リニ於テ試験ヲ施シ本科入學ノ許否ヲ決定ス故ニ此ノ科ニ於ケル實技及ヒ學科ハ中學校トノ連絡ヲ圖リテ教授スレトモ唯歴史ハ東洋美術史ノ大略ヲ講授セリ

日本畫科

日本畫科ハ分チテ第一、第二、第三ノ三教室トシ各室ニ主任教授ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ何レカノ教室ニ入りテ毛筆畫ヲ學ハシム其授業ヲ分チテ模寫、臨畫、寫生、新按、圖按ノ五トナシ別ニ郊外寫生ヲナサシム特ニ課スル學科ヲ用器畫法、解剖學、遠近法トス  
模寫及臨畫ハ本校教授ノ畫キタルモノ及古來名家ノ筆蹟ニ係ル簡易ナルモノヨリ漸次複雑ナルモノニ移リ主トシテ其着想並ニ運筆ノ法ヲ修得セシム第一年ヨリ第四年

マテ之ヲ課ス

寫生ハ初メ草木花實ヲ以テシテ蟲魚禽獸ヲ教室ニ致シ或ハ動物園ニ遊キテ之ヲ寫サシム其技ノ漸ク熟スルニ及ヒ生人ノもてるニ及ホシ本邦古來ノ甲冑ヲ著セシメ或ハ裝束ヲ爲サシメ若クハ當世ノ服裝ヲ寫サシメ以テ有職故實ノ實修ト傳彩配色ノ手法ト物象ヲ正確ニ描寫スル法トヲ教フ是亦第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課シ又別ニ圖畫教員志望者ノタメニ第一年ヨリ第四年マテ毛筆畫時間ヲ割キテ木炭畫、鉛筆畫、水彩畫ヲ修メシム

新按ハ既ニ學修シタル模寫臨畫及寫生ノ力ヲ應用シ課題ニ依リテ各自ノ意匠ヲ須キ新作セシムルモノニシテ第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課シ卒業期ニ於テハ新按ヲ以テ專ラ卒業製作ヲナサシム

圖按ハ草木果實ノ簡易ナルモノヨリ漸次複雑ナルモノニ及ホシ繪畫ノ力ヲ應用シテ模樣器物ノ圖按ヲ作ラシム第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課ス

郊外寫生ハ教員ニ於テ其日ト場所トヲ選ヒテ生徒ヲ引率シ又ハ生徒ヲシテ隨處ニ其風景ヲ寫生セシメ成績ヲ徵ス

西洋畫科

西洋畫科ハ分チテ五教室トシ主トシテ木炭畫、油畫ヲ教授シ又鉛筆畫、水彩畫ヲ併セ授ク而シテ特ニ課スル學科ヲ用器畫法、解剖學、遠近法トス

第一教室ハ第一年、第二年ノ生徒ヲ收容シ木炭畫ノ描法ヲ授クル所ナリ而シテ第一年ニ於テハ生徒技能ノ程度ニ應ジ木炭ヲ以テ標本ノ臨寫石膏像ノ寫生等ヲナサシメ第二年ニ至リテハ石膏像寫生ニ加フルニ人體寫生ヲ以テシ又鉛筆、水繪具、油繪具ニテ靜物、風景ヲ畫カシム

第二、第三、第四、第五ノ教室ハ第三年、第四年、卒業期及研究科生徒ヲ收容シ木炭、油繪具ヲ以テ人體ノ寫生ヲナサシム而シテ學年ノ進ムニ從ヒ漸次木炭畫ノ學習時數ヲ減シ加フルニ油繪ヲ以テス蓋シ木炭畫ノ目的ハ形體ヲ正確ニ描寫スルニ在リ

油畫ノ階梯タルニ過キサレハ大リ又別ニ第三年ニ於テハ鉛筆ヲ以テ人物姿勢ノ速寫ヲナサシメ水繪具、油繪具ヲ以テ靜物及風景ヲ寫生セシメ第四年ニ於テハ前學年ニ同シク鉛筆畫、人物姿勢速寫ヲ授ケ普通ノ靜物寫生ニ代フルニ被服ノ模様、皺襞ノ寫生ヲ以テス而シテ風景寫生ニハ油繪具ノミヲ使用セシメ時々風俗歴史ノ課題ニヨリテ水繪具、油繪具ヲ以テ構圖ヲナサシム卒業期ニ於テハ木炭、水繪具ニテ器物、花卉、人物ヲ寫生セシメコレニ據リテ更ニ裝飾的構圖ヲナサシメ以テ前學年ノ被服寫生ニ代ヘ此間ニ於テ卒業製作ヲナサシム鉛筆畫、人物姿勢速寫、油繪風景、課題風俗歴史畫ハ前學年ニ同シ

以上ノ各學年ニ於テハ既ニ學習シタル課目ニ對シ一學年間に三回ノ競技ヲ施行シ技能ノ優劣ヲ判定ス

又圖畫教員志望者ノタメニ第一年ヨリ第四年マテ毛筆畫ヲ修メシム

彫刻科

彫刻科ヲ分チテ塑造部、木彫部、牙彫部ノ三トシ七ノ教室アリ即チ塑造教室五、木彫教室一、牙角彫刻教室一ニシテ石膏標本室及製作室ヲ付設ス

塑造部ニテハ第一年ヨリ卒業期ニ至ル迄皆塑土ヲ以テ物形ヲ作ラシメ彫刻ノ術ヲ學修セシム其初メハ石膏製薄肉ノ裝飾物及動物ノ手本ヲ與ヘテ之ヲ摸セシメ技倆漸ク進ムニ從テ動物人首等ニ移ラシメ第二年以上ハ禽獸ヲ教室ニ致シ又ハ動物園ニ就テ寫生セシメ漸次生人ノもてるニ依リテ諸種ノ態度服裝ヲナサシメ其形ヲ寫サシメ又別設ノ石膏室ニ於テハ石膏型ヲ造ルノ方法ヲ教フルト共ニ自ラ塑土ノ作品ヲ石膏型ニ移サシム卒業期ニ至リテ專ラ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

木彫部、牙彫部ノ教授順序モ亦略シ塑造部ノ如クニシテ第一年ヨリ第四年マテ各自ノ志望ニヨリテ其部ノ一ヲ撰ヒ當該教室ニ就キテ古作品又ハ教師ノ作品ヲ模セシメ或ハ自己ノ意匠ヲ以テ作ラシメ又其實習時間ヲ割キテ塑土ヲ以テ物形ヲ作ルコトヲ學ハシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

圖 按 科

圖按科ニハ四ノ教室アリテ各種工藝圖按及建築裝飾圖按ヲ學修セシムル所トス而シテ此科ノ實習ヲ分チテ圖按實習、繪畫、彫塑トシ又圖按ニ關スル學識ヲ養フカ爲各學年ニ配當シテ圖按法、建築學、遠近法、用器畫法、工藝品製作法ノ講義ヲ課ス

圖按實習ハ内外各時代ノ工藝及裝飾圖按ノ様式ヲ教ヘ之ニ由リテ新按セシムルモノニシテ平常各時代ノ形式、模様配色等ヲ知ラシメ或ハ動植物ヲ寫生セシメ之ヲ模倣化シテ各種ノ圖按ヲ新作セシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムル事他科ニ同シ繪畫ハ毛筆畫、水彩畫、木炭畫トシ毛筆畫、水彩畫ニ於テハ古今名家ノ作品ヲ臨寫セシメ並ニ花卉禽獸及有職故實ニ關スル衣冠器具ヲ寫生セシメ以テ傳彩配色ノ法ヲ教ヘ木炭畫ニ於テハ石膏製ノ標本ヲ用キテ内外各時代ノ建築裝飾及動物人體等ヲ描寫セシメ以テ物體ノ高低陰影ヲ現ハスノ法ヲ教ヘ而シテ又其間ニ於テ繪畫ノ新作ヲ爲サシム

彫塑ハ塑土ヲ以テ圖案ニ關スル内外新古ノ作品ニ就キ裝飾及器物ノ模型ヲ寫サシメ又新作ヲナサシム

金 工 科

金工科ニハ四ノ教室アリテ彫金鍛金ヲ學修セシム即チ彫金ハ塹ヲ用キテ諸金屬ニ彫刻シ鍛金ハ諸金屬ヲ鍛打シテ各種ノ物形ヲ作ルノ術ヲ教フル所ニシテ鑄場ヲ付設シ又傍ラ塑造ヲ學ハシム特ニ課スル學科ハ製作法、工藝化學ナリ

彫金ヲ教フルニハ最初ハ塹ノ用法ヨリス即チ第一年ニアリテハ手本ヲ與ヘテ直線曲線ノ彫刻法ヨリ次テ之ヲ應用シ各自ノ考按ヲ以テ紋樣等ヲ刻セシメ技倆漸ク進ムニ從ヒ片切ノ彫法、鏤金ノ手法、全彫ノ作法等ヲ教ヘ時ニ題ヲ與ヘテ摸刻ノ外新按ヲ作サシム

鍛金實習ハ其初メ銅鐵ヲ鍛打シテ簡單ナル器物ヲ作ルノ法ヲ教ヘ其技漸ク進ムニ從ヒテ水滴花瓶香爐ノ類ヨリ禽獸蟲魚ヲ作ルコトヲ學修セシム卒業期ニ至リ以上ノ技

術ヲ以テ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ  
塑造ハ塑土ヲ以テ禽獸蟲魚人物等ノ原型ヲ作ルノ法ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ  
設クル所ノ教室ニ於テ之ヲ課ス

繪畫及圖按ハ繪畫ノ力ヲ養ヒ並ニ金工ニ必要ナル圖按ヲ學修セシムルモノニシテ別  
ニ設クル教室ニ於テ之ヲ課ス

鑄造科

鑄造科ニハ鑄液及蠟型教室、傳色教室、鑄造工場アリテ別ニ塑造ヲ學ハシメ又特ニ  
鑄金術、工藝化學、機械學大意ヲ課ス  
鑄造實習トハ塑土又ハ蠟型ニテ作りタル器物室内裝飾品影像等ノ鑄造原型ヲ作ル方  
法ヨリ之ヲ鑄成シテ傳色スル術ヲ教フルナリ初メハ手本ニ因リテ簡單ナル薄肉牛肉  
ノ手板又ハ額面ヨリ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ各自ノ新按セル筆筒香爐花瓶ノ類ヲ造  
ラシメ又寫生シタル鳥獸人物等ヲ鑄成セシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムル

コト他科ニ同シ

蠟型ハ蠟ヲ以テ鑄造ノ原型ヲ作ルコトヲ教ヘ塑造ハ金工科ニ同シク別設ノ教室ニ於  
テ原型ヲ作ルコトヲ學ハシム  
今茲ニ鑄造ノ順序ヲ略說スレハ手本ニ由リ又ハ寫生新按ヲ以テ蠟若クハ塑土ニテ物  
形ヲ作ルヤ之ヲ鑄造工場ニ致シテ軋型及中子ヲ作り次キニ溶銅ヲ注入シ而ル後其鑄  
型ヲ毀チ鑄成シタルモノハ鑄液教室ニ於テ仕上ケヲ爲シ了レハ則チ傳色教室ニ入り  
テ適宜ニ傳色ヲ爲シ是ニ於テ初メテ成品ヲ見ルヲ得ルナリ  
繪畫及圖按ヲ課スルハ金工科ニ同シ

漆工科

漆工科ニハ蒔繪教室ト調漆教室トアリテ主トシテ描金ノ術ヲ教ヘ并ニ漆器ノ塗り方  
ヲ學修セシム特ニ課スル學科ハ製作法、工藝化學ナリ  
蒔繪實習ハ平蒔繪研出シヨリ高蒔繪、素地蒔繪等簡易ナルモノヨリ次第ヲ追ヒテ教

フルモノニシテ初メハ手板ニテ習ハシメ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ盆菓子器其他ノ器物ニ就キテ學習セシム又此時間中ニ於テ題ニ依リ或ハ實物ニ就キテ作品ノ價格ヲ見積ル練習ヲナサシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルハ他科ニ同シ  
 調漆實習ハ蠟色其他種々ノ色調ヲ以テスル髹漆ノ方法及變リ塗リ等ヲ教フルモノニシテ蒔繪實習時間ヲ割キテ之ヲ學ハシム  
 繪畫及圖按實習ハ繪畫ノカラ養ヒ並ニ漆工ニ必要ナル圖按ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル教室ニ於テ日本畫ヲ課ス

圖畫師範科

圖畫師範科ハ普通教育ニ從事スル圖畫科教員ヲ養成スルヲ以テ目的トナスカ故ニ技術家タルト同時ニ教育者タルノ學識品格ヲ養ハンカタメ各學年ニ配當シテ倫理、教育學及教授法、美學及美術史、解剖學、圖按法、自在畫、幾何畫法、手工、習字、英語、教授練習、體操ヲ課ス

倫理ハ實踐道德及倫理大要ヲ授ク

教育學及教授法ハ教育ノ理論及應用、教育史、學校衛生、教授法ヲ課ス

美學及美術史ハ第一年ニ東洋美術史ヲ、第二年ニ西洋美術史ヲ課シ第三年ニハ美學ヲ授ク

解剖學ハ骨骼論ト筋肉論トノ大要ヲ授ク

圖按法ハ平面的模様ヲ主トシ立體圖案ヲ加フ

自在畫ハ木炭畫、鉛筆畫、毛筆畫、水彩畫等トシ石膏模型、標本、實物ニ依リテ陰影、濃淡及色彩ヲ授ク其方法ハ寫生ヲ主トシ兼テ見取及考按ノカラ練習セシム第二年、第三年ニ至リテハ塗板上ノ練習ヲ加ヘ第三年ハ殊ニ教授練習ヲ主トシテ初等教育ヨリ中等教育ニ至ル教案ノ編成ヲ行ハシム

幾何畫法ハ平面圖法、投影圖法、圖法幾何、透視圖法、陰影圖法ヲ授ケ應用問題ヲ練習セシム

手工ハ第一年ニ粘土細工、切貫細工、厚紙細工ヲ、第二年ヨリ第三年ニ亘リテ木工及金工ヲ授ク手工理論及其教授法ハ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス

習字ハ運筆ノ練習ヲ主トシ兼テ其教授法ヲ授ク  
英語ハ主トシテ美術及圖畫教育ニ關スル敘事論說ノ講讀ヲ學修セシム

圖畫教員タルノ課程

師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タラントスル者ノ爲ニ設クル課程ニシテ明治四十年現在ノ日本畫科、西洋畫科、圖案科生徒中ノ志願者ニノミ之ヲ課ス而シテ日本畫科ノ志願者ニ西洋畫ヲ併課シ西洋畫科ノ志願者ニ日本畫ヲ併課スルハ各其科ニ於テ述フル所ノ如クニシテ又各第四年ニ於テ教育學、教授法、用器畫法ヲ學修セシム

實業教員ノ養成

此課程ハ各種實業學校ノ教員タルヘキモノヲ養成スルヲ以テ目的トシ日本畫、西洋

畫ヲ除キタル他ノ各科生徒中志願ニ依リ最終ノ學年ニ於テ教育學、教授法ヲ課スルモノニシテ相當ノ人員ヲ限リ實業學校教員養成規程ニ依リテ一ヶ月金六圓以内ノ學資ヲ補給スルノ途アリ

研究科

研究科ハ各科卒業生ニシテ尙其實技ヲ研鑽セントスルモノ、爲ニ設クル所ニシテ其學修科目ハ各自ニ於テ撰擇スルモノナレハ豫メ之カ順序ヲ立テス要ハ研究ノ實ヲ舉クルニアリ在學年限ハ三ヶ年以内トス

撰科

撰科ハ本科生ノ不足ヲ補フカ爲必要ノ場合ニ於テ入學セシムルモノニシテ各科ノ實技中一課若クハ數課ヲ撰セテ學修セシム此科ニ入學ヲ許スヘキモノハ豫備科修了以上ノ實技ノカト規定ノ學力ヲ有スルモノトス其ノ修業年限ハ本科生ニ同シ

各科ニ於ケル講授學科

美術上ノ知識ヲ深達ナラシメ思想ヲ高尚ナラシムル爲實技ニ須要ナル學科ヲ各生  
徒一般ニ講授シ或ハ一部ノ生徒ニ限リテ之ヲ授ク即チ前記各科ニ特設セルモノ、外  
各學年ニ配當シテ一般ノ生徒ニ通シ課スル所ノ學科ハ外國語、風俗史、東洋美術史、  
西洋美術史、美學、西洋考古學等ナリ而シテ是等ノ學科ヲ講授スルニ方リテハ豫メ  
實物ニ接シタル場合ノ鑑識ヲ養ハシカ爲ニ或ハ現物ヲ以テシ又ハ寫真圖畫ニ依リ或  
ハ時ニ博物館ニ生徒ヲ伴ヒ若クハ幻燈ニ由リテ説明シ以テ之ヲ會得セシム其各學科  
ノ各學年配當及時數等ハ本校規則ニ登載シアルヲ以テ茲ニハ之ヲ略ス

### 生徒心得

(明治四十二年四月改正)

第一 本校ノ規則告諭等ヲ遵守スヘキハ勿論各自其志操ヲ堅固ニシ思想ヲ優美ニシ  
言行ヲ謹肅ニシ校ノ内外ヲ問ハス苟モ異様ノ容姿ヲナシ又ハ本校生徒タルノ體面  
ヲ汚ス等ノ舉動アルヘカラス

第二 凡ソ告示ハ揭示シタル時ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク

注意スヘシ

第三 何等ノ目的タルヲ問ハス本校ノ許可ヲ得ルニ非レハ校内ニ於テ猥ニ多人數會  
合スヘカラス

第四 實技及學科共其教授時間數ノ三分ノ一以上缺席スルトキハ進級ノ資格ヲ失フ  
モノトス

第五 登校ノ節ハ必ス本校所定ノ制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿ツヘシ如何ナル事由アル  
モ和服ヲ着用シテ教室ハ勿論校舎内ニ出入スルコトヲ許サス

第六 各自ノ記名札ハ門ヲ入ルトキ門衛ヨリ受取リテ教室ニ入り所定ノ場所ニ掛ケ  
退出ノ際ハ教師ヨリ受取リテ門ヲ出ツルトキ之ヲ門衛ノ札懸ニ掛クヘシ

第七 授業時間ニ至レハ遲滞ナク教室ニ入り各自ノ席ニ着キ其位次ヲ亂スヘカラス  
第八 教室ニ入ルトキハ帽子外套ヲ脱スヘシ



- 第九 授業時間中教師ノ許可ヲ得スシテ教室ヲ出テ又ハ他ノ教室ニ入ルヲ得ス
- 第十 授業時間外ニ教室ニ入り又ハ教室備付ノ物品ヲ携出スヘカラス
- 第十一 本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ニ敬禮ヲ重ンスヘシ
- 第十二 校舍ノ整肅清潔ヲ旨トシ總テ喧擾汚穢ノ舉動アルヘカラス
- 第十三 教室ニ於テ終業ノトキハ課業ニ用ユル備品ハ渾テ之ヲ掃除整頓スヘシ
- 第十四 校内ニ在リテハ所定ノ場所外ニ於テ飲食喫煙シ又ハ唾壺外ニ唾ヲ吐クヘカラス
- 第十五 帽子、外套、傘、履等ハ所定ノ場所外ニ置クヘカラス
- 第十六 宿所ヲ轉スルトキハ速ニ其旨届出ツヘシ
- 第十七 各自ヨリ本校ニ差出スヘキ願伺届書等ハ先以テ當該教員ノ認印ヲ受ケ然ル後之ヲ教務掛ニ差出スヘシ
- 第十八 在學中ハ鄣猥ノ製作ヲナス等ノコトアルヘカラス

- 第十九 在學中ハ本校ノ許可ヲ得スシテ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校或ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス
- 第二十 本校ヨリ貸付シタル物品ハ殊ニ取扱ニ注意スヘシ若シ其物品ヲ汚損シ又ハ紛失シタルトキハ修補セシメ或ハ同品ヲ以テ辨償セシム
- 第二十一 本校ノ許可ヲ得テ圖書標本若クハ其他ノ物品ヲ校外ニ持出サントスルモノハ當該職員ヨリ物品持出證ヲ受ケ之ヲ門衛ニ渡シテ出門スヘシ各自ノ所有品ト雖本校藏品ニ紛ラハシキ物品ヲ携出スルトキハ之ニ準スヘシ
- 第二十二 生徒ニシテ本校内ニ公告貼札等ヲ爲サントスルトキハ豫メ本校ノ許可ヲ得テ後チ指定ノ場所ニ限り之ヲ掲示スルコトヲ得
- 第二十三 家族若クハ同居人中又ハ住所ノ近傍ニ於テ激症傳染病ニ罹リタルモノアルトキハ速ニ其旨ヲ本校ニ届出ツヘシ

東京美術學校文庫規則 (明治三十九年十一月改正)

- 第一條 東京美術學校文庫ハ本校所有ノ圖書標本及生徒成績品ヲ收藏スル所トス
- 第二條 收藏品ヲ分チテ左ノ五種トス
  - 第一種 通常圖書
  - 第二種 貴重圖書
  - 第三種 通常標本
  - 第四種 貴重標本
  - 第五種 生徒成績品
- 第三條 本校ノ職員、卒業生、生徒ハ文庫所藏品ヲ閱覽スルコトヲ得  
 篤志ノ研究者ニシテ許可ヲ得タルモノモ亦同シ
- 閱覽者ハ閱覽ノ場所及手續ニ就キテハ凡テ文庫掛員ノ指示ニ從フヘシ
- 第四條 第二種及第四種ノ貴重品ハ閱覽ヲ許ササルコトアルヘシ

- 第五條 文庫掛員ノ外文庫内ニ入り所藏品ヲ檢索シ又ハ出納スルヲ許サス
- 第六條 文庫所藏品ヲ閱覽セントスルモノハ豫メ閱覽票ノ交付ヲ受クヘシ  
 篤志ノ研究者ニシテ閱覽セントスルモノハ豫メ其旨ヲ校長ニ願出ツヘシ
- 第七條 閱覽者ハ閱覽票ヲ携帯スルニアラサレハ閱覽室ニ入ルコトヲ得ス  
 閱覽者ニシテ室外ニ出ツルトキハ一應閱覽品ヲ返納スヘシ
- 第八條 閱覽日時左ノ如シ  
 但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ
 

自九月十一日	午前八時ヨリ午後九時マテ
至十月三十一日	
自十一月一日	午前八時半ヨリ午後九時マテ
至翌年三月末日	
自四月一日	午前八時ヨリ午後九時マテ
至七月十日	
自七月十一日	午前八時ヨリ正午マテ
至九月十日	
- 第九條 定期閉鎖日左ノ如シ

但シ臨時閉鎖日ハ其都度之ヲ揭示スヘシ

歳首自一月七日至至同月七日

歳末自十二月二十五日至至同月三十一日

日曜日及祝祭日

本設校置紀念日

曝書期 夏期休業中 三十日間

第十條 各科教室ニ於テ教科用ニ供スルタメ圖書標本等ヲ其教室ノ常備トスル必要アルトキハ教室ノ主任又ハ擔任者證印ノ上其教室ノ常備トナスコトヲ得

但シ圖書標本等ハ各科共通ノ便ヲ圖リ且取締ヲ嚴ニスル必要アルヲ以テ已ムヲ得サル場合ニアラサレハ常備トナササルヲ主意トスヘシ

第十一條 前條ニ依リ教室ノ常備トスル圖書標本等ハ直ニ其教室ノ監守簿ニ記入シ主任又ハ擔任者證印シ物品會計規則ニ依リテ保管ノ責ニ任セシム

第十二條 前條ノ主任又ハ擔任者交迭スルトキハ文庫掛員立會ノ上監守簿ニ照シ更

ニ之ヲ後任者ニ引繼ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 教室常備ノ圖書標本等ハ毎年七月十日限り文庫掛へ返納スヘシ

第十四條 授業上必要ノ爲メ本校ノ名義ヲ以テ他ヨリ借入レ又ハ保管預リヲ爲シタル圖書標本ハ總テ本校所有ノモノト同一ノ取扱ヲ爲スヘシ

但シ他ヨリ借入レタル物品ハ一切校外へ帶出ヲ許サス

第十五條 公私ノ團體其ノ他ノモノヨリ圖書標本等ノ帶出閱覽ヲ請フコトアルトキハ文庫掛ハ其期間ヲ明記シタル願書ヲ徵シ校長ノ命ヲ承ケテ之ヲ處理スヘシ

第十六條 帶出閱覽中ノ物品ト雖本校ニ於テ要用アルトキハ隨時返納セシムヘシ

第十七條 帶出閱覽中ノモノ旅行セントスルトキハ期限内ト雖モ旅行前一旦現品ヲ返納スヘシ

職員ニシテ退職若クハ轉職シタルトキハ直ニ其借受セル圖書標本等ヲ返納スヘシ第十八條 凡テ閱覽中ノ圖書標本等ハ他ニ轉貸スルヲ許サス

第十九條 圖書標本等ハ總テ鄭重ニ取扱フヘシ誤テ之ヲ亡失シ或ハ汚染毀損セルト  
 キハ同一品若クハ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシムヘシ  
 第二十條 返納期日其他規定ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後閱覽及借覽ヲ停止スルコ  
 トアルヘシ

職員

學校長

正五位勳四等 正木直彦 東京平

教授

帝室技藝員正五位勳五等 川端玉章 東京平

日本畫

帝室技藝員從五位勳五等 高村光雲 東京平

塑造

帝室技藝員從四位 黑田清輝 東京平

西洋畫

牙彫

帝室技藝員從五位勳五等 石川光明 東京平

木彫、裝飾彫刻

帝室技藝員從五位勳五等 竹内久一 東京平

彫金、金工製作法

帝室技藝員從五位勳五等 海野勝珉 東京平

英語、西洋美術史、西洋彫刻史

正五位男爵 岩村透 京都華

西洋畫、圖案

正六位 岡田三郎助 東京平

西洋畫

正六位 和田英作 鹿兒島士

建築學、建築製圖

陸軍歩兵大尉從六位勳六等 大澤三之助 東京平

詩繪

帝室技藝員從六位 白山福松 東京平

日本畫

從六位 寺崎廣業 東京士

建築學、建築製圖

從六位 古宇田實 東京平

自在畫、幾何畫法

從六位 白濱徵 長崎士

教育學及教授法

從六位 白井保次郎 愛媛平

塑造

職員

圖案、圖案法	從六位	島田佳矣	東京士
鑄造	陸軍歩兵少尉正七位	櫻岡三四郎	茨城士
塑造	從七位	沼田勇次郎	東京平
日本畫	從七位	小堀鞆音	東京平
日本畫	從七位	福井信之進	東京士
西洋畫	從七位	藤島武二	鹿兒島士
工藝化學	從七位	鎌田彌壽治	德島平
助 教 授			
日本畫、遠近法		岡田 秀	東京平
木彫		林 美雲	東京平
塑造		黒岩倉吉	東京平
西洋畫		長原孝太郎	岐阜平

日本畫	陸軍歩兵曹長勳七等	結城貞松	東京平
鑄造、鑄金製作法	陸軍歩兵中尉	津田信夫	千葉士
調漆、漆工製作法	從七位勳五等功五級	石井吉次郎	東京士
圖案	陸軍一等計手勳七等	千頭庸哉	東京士
西洋畫		小林萬吾	東京平
鑄造、鑄金製作法		坂口 脛	東京士
體操	教務掛兼庶務掛	玉田文作	東京平
西洋畫		中村勝治郎	奈良平
日本畫		鶴田幾太郎	山梨平
時繪、漆工史 漆工製作法		堀井政吉	富山平
鍛金、金工製作法	陸軍歩兵軍曹勳七等	石田英一	佐賀士
日本畫		松岡輝夫	千葉平

圖畫、手工

工藝化學

波根義三 山口士  
柴一雄 東京平

囑託教員

用器畫法

第一高等學校教授正五位勳四等  
パチエロル、オプ、アーキテクチュニール

小島憲之 東京士

建築學、東洋建築史

東京帝國大學工學博士  
助教正六位工學博士

關野貞 新潟士

手工

正五位勳五等

上原六四郎 東京平

倫理、教育學

東京高等師範學校教授從六位

乙竹岩造 三重士

工藝化學

京都帝國大學理工科大學教授  
陸軍步兵少尉從六位

大築千里 東京士

美學

陸軍步兵少尉正八位勳六等

瀧精一 東京平

鍍金

平田宗幸 東京平

佛語

合田清 東京平

風俗史

關保之助 東京士

建築學、建築製圖

蠟型

教務掛主任兼庶務掛  
陸軍步兵中尉從七位勳六等功五級

岡田信一郎 東京平

體操

大島勝次郎 東京平

調漆

羽田禎之進 宮城平

金工史

橋本市藏 東京平

習字

香取秀治郎 東京平

體操

教務掛兼庶務掛  
陸軍步兵少尉從七位勳五等

岡田起作 京都士

圖案、遠近法

雇 (助手)

赤間運藏 東京平

彫金

小場恒吉 秋田士

英語

八卷於菟三 山梨平

工藝化學

森田龜之輔 東京平

鹿毛屋藏 福岡士

職員

牙影	三浦 柳三郎	茨城士
解剖學	谷 齊一	栃木士
彫刻	長 愛之	栃木士
嚙託指南		
柔道	井上 縫太郎	東京平
劍術	木村 敷秀	東京士
弓術	本多 利實	静岡士
書記		
會計主任	高田 松男	東京平
庶務掛主任兼教務掛	屋代 欽三	東京士
教務掛兼庶務掛	增井 兼吉	東京平
庶務掛兼教務掛	宮島 孝	東京士
	陸軍一等計手勳七等	

文庫掛	磯野 富之助	富山士
會計掛	中澤 治之助	長野平
會計掛	藤岡 福三郎	東京平
文庫掛	山野 繁輝	東京士
文庫掛	北浦 大介	奈良士
會計掛	中島 新助	東京平
會計掛	寒川 澁	東京士
監視	西村 綾雄	東京士
文庫掛	荒木 榮治	兵庫平
會計掛	安井 匡雄	東京士
休職員	休職順	

明治四十三年二月二十一日休職

明治四十三年三月二十二日休職

明治四十三年三月二十四日休職

外國留學生

明治四十三年十二月ヨリ三年間佛獨伊國留學

助教授

水谷 鐵也 東京士

教授從五位

久米 桂一郎 佐賀士

教授正七位

大村 西崖 静岡平

教授從六位

海野 美盛 東京平

生徒姓名

明治四十三年十一月三十日調

日本畫科第一年

富田賢太郎	愛知平	太田義一	山形平	丹羽芳松	愛知平
得重常太郎	山口平	狩野守久	東京士	西村平間	香川平
服部謙一	愛知平	植松俊郎	静岡平	西尾聖	静岡平
加藤丑之助	富山士	金上盛三	福島平	林與	福岡平

池田信	大分平	友田治夫	兵庫士	齋藤赫夫	静岡平
郷倉興作	富山平	小栗武郎	佐賀平		

日本畫科第二年

石若吉郎	富山平	夏目利政	東京士	小西三郎	茨城平
豐島吉之助	愛知平	紅葉谷楠一	大阪平	佐取輝三	栃木平
永注質吉	福岡平	小田繁雄	大阪平	高橋清一	栃木平

日本畫科第二年

寺門祐之	茨城平	根岸庄助	埼玉平	三宮恒	新潟平
立野甚一	富山平	石川廣助	茨城平	山邊重平	長野平
齋藤敬一郎	東京平	五十嵐藤治郎	山形平	山根泉介	鳥根平
中村健之助	青森士				

日本畫科第二年

生徒姓名 日本畫科



鴨下 中雄 東京平 池田桃太郎 岩手平 羽鳥 捨三 東京平  
 平井 精一 富山士 岡田 清 栃木平 龍 信五郎 東京平  
 石本光太郎 東京平

日本畫科第三年

今尾十一郎 京都平 内田他治郎 石川士 永田 良亮 茨城平  
 木實谷喬壽 福島平 高橋 卓一 千葉平 川路 誠 廣島平  
 伊藤 順三 東京平 小泉 政吉 秋田士 田代 猶喜 福岡士  
 田鎖 秀 岩手士 船越 謙 兵庫平 中島 研 静岡平  
 柏谷 義一 大阪平 赤坂 永 新潟平 佐藤 久米 茨城士  
 麻畑 重 福岡士 丹羽善五郎 群馬平 堀江 清 島根士  
 河島 義市 兵庫平 柳ヶ瀬豊太郎 佐賀平

日本畫撰科第三年

山下 武一 福岡平 鈴木六三郎 東京平 太田 福藏 東京平  
 中村 恒吉 静岡平 上林 重德 東京平

日本畫科第四年

篠原 圓次 長野平 廣島新太郎 徳島平 福島外喜雄 石川平  
 小森 二郎 石川士 長井 智覺 佐賀平 大山 逸八 新潟平  
 川幡伍一郎 東京平 田村寛二郎 徳島平 岡村 榮 香川平  
 山本信太郎 兵庫平 清水 潔 新潟士 井上 利正 島根平  
 内藤敬三郎 島根平 菊澤六兵衛 埼玉平 奥山常太郎 三重平  
 日本畫科卒業期  
 土橋 三郎 福島平 南部 茂 高知平 戸田 正夫 岡山平  
 渡邊 泰輔 新潟平 富田 一昭 奈良士 柴田健次郎 愛媛士

青山 扶 島根平 大山 文吉 東京士 清島 長次 長崎平

日本畫撰科卒業期

足立 季彦 高知士 戸部 隆吉 石川平 江森 天壽 埼玉平

西洋畫科第一年

矢澤 貞則 長野士 森山 驥三郎 東京士 氏原 作次郎 大阪平  
 柏木 正賢 神奈川平 井上 勇五郎 大分士 佐竹 義種 東京華  
 中村 彌藤治 長野平 鹿兒島 彦次郎 福岡平 山田 誠一郎 北海道平  
 井田 繁三 三重平 椋樹 妙立 三重平 栗田 兼次郎 静岡平  
 松美 長四郎 石川平 古郡 貞一 青森士 宮武 辰夫 香川平 金子 保 東京士  
 市川 芳太郎 福岡平 及川 康雄 三重平 守田 千穂 福岡平  
 內村 吉助 岩手平 松見 吉彦 和歌山士

小松喜代子 福島平 野田 半三 東京士 大橋 慶一 鹿兒島平

岡 一郎 福島士 福原 全秀 東京平 須田 信一 埼玉平

關 彦四郎 青森士 高間 惣七 東京平 川島 穎正 福岡士

前田 慶藏 青森平 六角 集二 福岡士 梶原 貫五 福岡士

西洋畫撰科第一年

方 明 遠 清 國 潘 壽 恒 清 國

西洋畫科第二年

野木 定次郎 岡山平 森島 直造 東京平 遠山 五郎 福岡士

宇野 長尙 大分士 平田 宗胤 東京士 岡見 富雄 東京平

島山 秋夫 秋田平 原 詔光 富山士 楠本 秀男 和歌山平

淺井 政藏 鳥取士 森 脇 忠 島根平 後藤 博 福井士

近藤 芳男 東京士 田中 時治郎 滋賀平 小林 克己 北海道平

伊藤 鼎 岩手平 山田 實 茨城平 久保 篤敬 山口平  
 福田 靖夫 官城平 長崎 了惠 石川平 服部 亮英 三重平  
 小出 楯重 大阪平 前山 長次郎 千葉士 藤田 遜 佐賀平  
 鍋井 克之 大阪平

西洋畫撰科第二年

汪 濟 川 清 國 高 義 東 朝 鮮

西洋畫撰科第三年

酒井 榮之 富山平 田中 泰吉 東京士 河目 悌二 愛知士  
 川上 四郎 新潟平 布目 敏行 石川平 三宅 鐘吉 東京平  
 兒玉直之助 秋田平 小原 清吉 岩手平 安達 賢治 静岡平  
 坪井 玄治 東京平 平澤 文吉 新潟平 牧野 虎雄 新潟士  
 蒲生 俊英 岐阜平 竹村 岱造 新潟平 江馬 春吉 岐阜平

及川 吳郎 岩手平 吉村 芳松 東京平 三浦 良勳 愛知平  
 中尾 春雄 廣島士 樋渡 留太郎 山形平 鈴木 梅月 新潟平  
 栗原 誠 静岡平 羽場 金司 青森平 在田 稠 宮城平  
 濱 哲雄 福岡平 熊岡 美彥 茨城平 大塚 豐 東京士  
 高橋 信 千葉士 清野 善彌 宮城平 森山 肇 東京士

西洋畫撰科第三年

石坂 武一 東京平 白 常 齡 清 國 陳 之 駟 清 國

西洋畫撰科第四年

神津 港人 長野平 清原 重一 德島平 御厨 純一 佐賀平  
 齋藤 知雄 東京士 三國 久 新潟平 淺井 松彥 東京平  
 佐藤 哲三郎 東京平 杉江 春男 廣島士 工藤 三郎 北海道平  
 井上 清一 廣島平 平井 爲成 香川平 北島 淺一 佐賀平

大江九二太郎 東京平 山下鐵之輔 福岡平 堤 龍雄 山梨平  
 萬 鐵五郎 岩手平 倉智亮三 福岡平 栗原 忠貳 静岡平  
 片多 德郎 大分平

西洋畫撰科第四年

金澤 重治 東京士 野元 義雄 鹿兒島士

西洋畫科卒業期

佐野 貞雄 福島士 小寺 健吉 岐阜士 中野 營三 香川士  
 脇 龜太郎 德島平 庄子 勇 宮城士 三宮 知義 北海道平  
 鈴木 良治 新潟平 諸澤 虎雄 秋田士 山口 亮一 佐賀士  
 大野 隆德 千葉平 橫井 禮一 愛知平 人見 彌 愛知平  
 東 守七 三重平 中溝 四郎 佐賀士 富田 溫一郎 新潟士  
 太入 保喜一 埼玉平 鈴木 秀雄 東京士 菊池 五郎 茨城士

濱田 盛基 熊本士 坂井 戒爾 東京華 猪飼 公正 大阪平

西洋畫撰科卒業期

李 岸 清 國 田中 塊一 福岡平 本吉 勝造 北海道平

曾 延 年 清 國

彫刻科第一年

橫田 貞信 奈良士 山中儀太郎 富山平 清水外三郎 富山平  
 長谷川勝之 富山平 大國 貞藏 大阪平 山口不可止 香川平  
 高須 俊彦 山口平 岡 義治 香川平 引田 八藏 富山平  
 野田長次郎 德島平

彫刻撰科第一年

橫江 嘉純 東京平 田中 求 茨城平 小野田嘉助 山形平  
 簡野福四郎 東京平 塚越 東七 栃木平 長谷部健次郎 富山平

龜岡 崇 東京士 勝尾 二郎 宮城平

彫刻科第二年

林 健市 廣島士 岡崎 朋邦 富山平

川島 鼎三 栃木平 河村 弘 岐阜平

彫刻科第二年

熊澤熊太郎 兵庫平 三浦 長壽 静岡平

大西三次郎 京都平 河合 正人 茨城平

彫刻科第三年

田邊 孝次 石川士 堀 義二 山口平

大坪 宗一 富山平 佐々木長次郎 富山平

安部 然 大分平 保岡 熊彦 東京士

中谷 宏運 富山平 山内 文世 福井平

久野惣十郎 茨城平

藤田 龜久 東京平

小室 順吉 秋田士

谷本清太郎 香川平

島 庄吉 富山平

金澤彌三郎 東京平

齋藤太吉郎 富山平

幸崎伊次郎 石川平

千石 泰治 福井平

彫刻科第三年

橋本 武夫 東京士 井上 久次 東京平

志摩 鶴二 福井平 渡邊 信助 愛媛平

木原 茂 東京士

佐瀬芳之助 千葉平

山本 豊 東京平

彫刻科第四年

加藤 孝三 千葉平 新田藤太郎 香川平

吉田 三郎 石川平 北村 西望 長崎平

藤谷 嘉一 石川平 數見 定一 東京士

山川 豊松 石川平

矢野 誠一 香川平

肥田 武馬 香川士

須田 速人 宮城平

彫刻科第四年

石川 久吉 愛知平 金田 勇 東京平

富永 光一 山形士

生徒姓名 彫刻科

彫刻科卒業期

入谷 昇 香川士 和田 季雄 東京士 橋本久米二郎 茨城士  
鶴崎 乙也 兵庫士 山田 勝 大阪平 大藏 雄夫 石川平

彫刻撰科卒業期

建昌彌一郎 和歌山平 關野金太郎 神奈川平 鹽澤角之助 栃木平

圖案科第一年

淺野 廉 神奈川平 大貫 重治 東京平 森田 茂 香川士  
秋保謹四郎 山形士 安間 立雄 兵庫士 水谷 慶治 愛知平

圖案科第二年

藤村彦四郎 佐賀平 松本 末男 東京士 木村得三郎 宮城士  
安藤喜八郎 神奈川平 吉田 智康 福非士 專頭憲太郎 大分士  
藤川 直造 香川平 飯野 眞倍 福島平 伊藤 豊 愛知平

平野 薰 東京平 藤岡 茂男 東京平

圖案科第三年

森田 潔 京都平 瀧川 一則 鳥取士 廣川松五郎 新潟平  
梶田 惠 岩手士 町田 英 群馬平 齋藤 佳藏 秋田平  
板倉 勝磨 東京平 津村 末男 茨城平

圖案科第四年

今 和次郎 東京士 山崎 陽一 山梨平 和田 順顯 石川平  
福井 鴻逸 岡山平 信田 了平 富山平

圖按科卒業期

高橋昇太郎 京都平 千熊 宇平 鳥取平 小川 正雄 長野士  
西村小二郎 東京平 伊井彌之助 富山平 幡野久太郎 愛知平  
中井彌五郎 富山平 藤本 稔 香川士

金工科第一年

小杉直吉 富山平 手島達雄 東京平 山崎敬止 東京士  
加藤幸三 香川平

金工撰科第一年

馬場信一 東京士 石塚明三 埼玉平 江島信一 佐賀平

近森岩太 香川平 今村静一 愛媛平

金工科第二年

大森俊治 茨城平

金工撰科第二年

村田延之助 東京平 渡邊健吉 千葉平

金工科第三年

磯野三郎 富山士 星山勇藏 鹿兒島士

金工科第四年

神矢教親 高知平 寺島恕 富山平 田中賑吉 埼玉平

野口六三 東京士 根尾謙兒 廣島士 漆間宏 北海道平

金工撰科第四年

能守安太郎 東京平 水沼静 愛媛平

金工科卒業期

北原千祿 香川平 海野清 東京平 小糸源太郎 東京平

黒川廣吉 香川平

金工撰科卒業期

三好真長 香川士

鑄造科第一年

本間久雄 新潟平 一井英一 徳島平 佐藤泰治郎 秋田平

菅野 英一 岩手平

鑄造科第二年

西村 敏彦 東京士 高村 豊周 東京平

柳 俊夫 長野士

常木 庄藏 福島平

鑄造科第三年

樋笠岩太郎 香川平

鑄造科第四年

小林 俊之助 宮城平 山本 菊一 長野平

勝野 久實 東京士

山成 次夫 岡山平 杉田 精二 長野平

鑄造科卒業期

太田 靜一 大阪平 藪野 寛 東京士

鑄造撰科卒業期

時岡 鐵次郎 新潟平

漆工科第一年

近松 善次郎 富山平

漆工撰科第一年

中村 保太郎 静岡士

漆工科第二年

石崎 誠二 富山平 五十嵐 三次 富山平

蓮花 宗二 富山平

河野 順一 東京平

漆工撰科第二年

土方 永守 東京平 相崎 茂吉 宮城平

漆工科第三年

藤芳 太直 熊本士 酒卷 洵 埼玉平 芝山 清次 富山平



三野 吉明 香川士 增川 金松 石川平

漆工撰科第三年

溝淵好三郎 香川平 岩城 彌一 富山平

漆工科第四年

香川源四郎 香川士 松林亥三郎 石川平

漆工科卒業期

古川 茂一 石川士 木村 清 東京平

圖畫師範科第一年

小坂留太郎 北海道平 中村 義守 岩手平

杉浦 魁 福島士 太田 陽三 長野平

渡部 儀八 福島平 石川彌八郎 新潟平

石川 確 福井士 大澤 左一 長野平

工藤 廉平 大分士  
小林 金治 長野平  
武田新太郎 長野平  
武田 一郎 宮城士

阿部 忠助 岩手平 有馬 廣厚 福岡士

佐藤三代治 宮城平 高見 學 福岡士

新野利三郎 東京平 服部 寅男 熊本士

圖畫師範科第二年

花曲 義平 山梨平 幕谷 四郎 三重平

小塚義一郎 静岡平 曾根末次郎 大分士

小野久壽馬 高知平 末 廣長 大分平

高瀬猪一郎 大阪平 霜田 利平 埼玉平

鹽月 善吉 宮崎平 福島 章 島根士

權藤 種男 大分士 志賀九十郎 北海道平

市川 邦彦 静岡士 佐藤謙太郎 秋田士

圖畫師範科第三年

西岡 瑞穂 高知平  
真鍋 蕃 香川平  
海老原 茂 群馬士  
大河内定雄 茨城士  
松崎 巍七郎 福島平  
小堀 章 茨城平  
荒川 潔 福岡士

筑瀬由太郎	奈良平	岡登貞治	長野平	中根孝治	山形士
今井伴次郎	群馬平	中島英二郎	茨城平	安藤義茂	愛媛平
秋山任	茨城士	中津安彦	熊本士	湧口滿	福井士
吉田久	埼玉平	野口涉	愛媛平	田中寛	熊本平
堀秋成	長野平	山本四郎	神奈川平	佐藤七之助	山形士
山岸貞一	山形士	飯田文一	富山平	圓藤義雄	廣島平
西洋畫	研究科	○印ハ撰科研究生ヲ示ス			
日本畫	吉田苞	東京士	西洋畫	川北元英	三重士
彫刻	吉原義雄	東京平	日本畫	伊藤繁延	東京士
西洋畫	金山平	兵庫平	西洋畫	石川確治	山形平
西洋畫	中野修二	新潟平	西洋畫	渡邊鞆	新潟平
				中村元麿	滋賀士

西洋畫	菊池香三	岩手士	金工	神谷甚一郎	東京平
日本畫	川崎隆一	愛知平	西洋畫	田邊至	東京士
西洋畫	山下釣	東京士	西洋畫	新井完	兵庫士
西洋畫	長谷川昇	北海道士	西洋畫	香田勝太	鳥取平
西洋畫	安宅安五郎	新潟平	漆工	三木榮	群馬士
漆工	吉野富雄	千葉平	西洋畫	近藤浩	山梨平
西洋畫	山脇信徳	高知士	西洋畫	住谷宗一	群馬平
西洋畫	清水大助	東京平	彫刻	井上直伍	岡山平
日本畫	濱谷榮次郎	富山平	鑄造	鈴木文衛	山形士
彫刻	石井鶴三	東京平	金工	○チャレン、スラナート	暹羅國
漆工	○ボンブー、ワナート	暹羅國	鑄造	津田良次郎	富山平

特待生姓名

日本畫科第三年	今尾十一郎	京都平	日本畫科第三年	內田他治郎	石川士
日本畫科第四年	篠原圓次	長野平	西洋畫科第二年	野木定次郎	岡山士
西洋畫科第四年	齋藤知雄	東京士	西洋畫科卒業期	佐野貞雄	福島士
彫刻科第三年	田邊孝次	石川士	彫刻科第四年	加藤孝三	千葉平
彫刻科第四年	新田藤太郎	香川平	彫刻科卒業期	入谷昇	香川士
圖按科第二年	藤村彦四郎	佐賀平	圖按科第四年	今和次郎	東京士
圖按科第四年	山崎陽一	山梨平	金工科第三年	磯野三郎	富山士
金工科第四年	神矢教親	高知平	漆工科第二年	石崎誠二	富山平
漆工科第四年	香川源四郎	香川士			

卒業生姓名

日本畫科

日本畫科西洋畫科圖按科及圖畫講習科中○印ハ普通圖畫教員タルノ學科ヲ履修セシモノ△印ハ特別檢査ニ依リ×印ハ受驗ノ上圖畫教員免許狀ヲ下付セラレタルモノ、圖畫師範科中ノ○印ハ圖畫手工ノ外習字ノ免許狀ヲ下付セラレタルモノヲ示ス

明治二十六年七月卒業

東京美術學校	關保之助	東京士	自	營	高屋德次郎	岐阜士
農商務省特許局	岡本勝元	石川士	京都市立高等女學校	倉田德松	三重平	
自	營	內海輝邦	島根士	日本美術院	橫山秀麿	東京平
佐賀縣唐津中學校兼高等女學校	山田於菟三郎	東京士				

明治二十七年二月卒業

日本美術院	下村晴三郎	東京士	宮	內省	溝口禎二郎	東京士
東京美術學校	島田佳矣	東京士	京都府技師	龜岡末吉	東京平	
自	營	西郷規長	野士	自	營	小島光眞
						岐阜平

廣島縣私立日彰館中學。鶴殿長庚。靜岡士。遷信省。小栗常藏。東京平。

千葉縣千葉高等女學校。島田友春。山口士。亡。三輪青谷。愛知平。

明治二十七年七月卒業

東京美術學校。白濱。徵長時士。

廣島高等師範學校。原貫之助。靜岡士。

自營。原陽一。山口士。

京都府第二中學。鈴木信一。山口士。

清洲商店(東京)。志賀靜山。大阪平。

私立東京中學校兼手工學校(東京)。堤雄長。東京華。

三重縣工業試驗所。有元轍三郎。岡山平。

自營。殿村左五平。三重士。

明治二十八年七月卒業

日本美術院。菱田三男。長野士。

在朝鮮。天草友雄。熊本士。

內務省。安藤時藏。東京士。

自營。中村端三。東京士。

千葉縣師範學校。井上良慶。新潟平。

農商務省特許局。志賀貞三郎。石川士。

私立中央商業學校(東京)。小倉。要。東京士。

山口縣師範學校。福原謙之助。山口士。

私立親和高等女學校(神戸)。小林一意。群馬士。

私立錦城學校(東京)。戶田忠雄。東京華。

在米國。小川三知。靜岡士。

明治二十九年三月卒業

死。佐伯德介。山口士。

明治二十九年五月卒業

死。田村健次郎。東京士。

明治二十九年七月卒業

福島縣相馬中學。高橋。勇。福島士。

在米國。高井元吉。廣島平。

自營。山脇雄吉。鳥取平。

北海道師範學校。菅原次郎。北海道平。

靜岡縣掛川中學。丹羽五十吉。東京士。

自營。加藤一郎。山口平。

自營。豐岡保太郎。千葉平。

明治三十七八年奉天ノ役戰死。後藤矩一。山口平。

日本美術院。木村信太郎。茨城士。

埼玉縣浦和中學。櫻井節雄。靜岡士。

自 營。佐藤榮三郎 宮城平 明治三十七八年 羽生道也 鹿兒島士  
 私立京華中學校 (東京) 鈴木武之助 東京平 自 營 桑名三郎 東京平  
 大阪府四條中學校 金子 泰 東京士 栃木縣女子師範學校 濱中半三郎 東京平  
 長野縣松本高等女學校 松原善人 長野士 死 田口鎌三郎 栃木平

明治三十年七月卒業

自 營。渡邊啓三 東京士 新潟縣長岡女子師範學校 藤卷直治 新潟平  
 東京美術學校 結城貞松 東京平 清國四川省成都府高等實業學堂 今田直策 宮城平  
 自 營。豐田宇三郎 山形平 自 營。早崎稔吉 東京士  
 第一高等學校。平井富夫 東京士 石川縣工業學校 山本昌 東京士  
 死 亡。柿山蕃雄 熊本士 東京美術學校 岡田秀 東京平  
 死 亡。桑原彌太郎 岡山士 東京府第一中學 高城次郎 東京士  
 自 營。乾長光 高知士 自 營。川勝勘兵衛 東京士

福岡市立高等女學校 加藤紀高 茨城士 私立麻布中學校 (東京) 河原崎謙吉 東京平  
 私立共立女子職業學校 (東京) 木村俊秀 千葉平 鹿兒島市立商業學校 田中國廣 鹿兒島士  
 新潟縣新發田中學校 川崎周太 新潟平 福島縣師範學校 服部保一 福島士  
 神奈川縣橫須賀高等女學校 村岡貞一 佐賀士 自 營。小出魯一郎 千葉平  
 自 營。鶴川俊三郎 東京士 死 亡。桃澤重治 長野平  
 自 營。鈴木雪哉 栃木士

明治三十一年七月卒業

青森縣師範學校 山崎勇馬 高知士 自 營。三浦二郎 大阪士  
 兵庫縣御影師範學校 岡村道三 北海道士 自 營。大平正曹 德島士  
 北海道箱館中學校 山縣丹治 秋田士 死 亡。齋藤新助 岡山平  
 福井縣福井高等女學校 飯尾駒太郎 岐阜平 自 營。松平乘長 東京華  
 農商務省山林局 大石榮雄 靜岡士 自 營。高橋玄道 東京平

熊本縣師範學校。藤原美治郎大分平

福井縣武生中學

清家

恕愛媛士

自 營。杉村 僊 吉三重平

明治三十二年七月卒業

(河原崎謙吉ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ岡藤教員タルノ課程ヲ修メタリ)

死 亡。堀 内 喜 一 富山平

埼玉縣女子師範學校

工藤

晨青森士

自 營。大森新之助東京平

鹿兒島縣師範學校

梶川

儀夫千葉士

自 營。森田豐次郎東京平

山形縣山形中學

桃井

義一山形士

自 營。松里 政 登 福岡士

岡山縣女子師範學校

跡見

三次郎東京平

前 出。河原崎謙吉東京平

明治三十三年七月卒業

清國四川省成都中等工業學堂

鹿兒島縣志布志中學校

生井

平太郎岐阜平

私立成城學校。網 島 政 治 岡山平

私立芝中學校

竹ノ下

俊 鹿兒島士

東京美術學校。鶴田幾太郎山梨平

青森縣青森中學

三浦

自也 岩手士

自 營。伊原 六 郎 埼玉士

自 營。中 田

清東京平

明治三十三年十月卒業

鳥取縣米子中學。宅 和 鋼 一 島根士

福井縣大野中學

岡野

賢三 滋賀士

明治三十四年七月卒業(鶴川俊三郎ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ)

自 營。中原 佐治郎 島根平

愛知縣瀬戸陶器學校

藤 井

豐千葉士

自 營。前波 覺次郎 福井平

自 營

野口

駿尾東京士

佐賀縣有田工業學校。有 馬 龍 秀 東京平

自 營

杉野

松太郎 廣島平

自 營。岩 井 昌 三 三重士

滋賀縣師範學校

今井

重信三重士

關東都府府中學。佐々木 惣三郎 福井平

兵庫縣姫路師範學校

竹 内

勝東京士

和歌山縣師範學校。石 野 氏 承 石川士

前 出

鶴川

俊三郎 東京士

明治三十四年九月卒業

大阪府泉南高等女學校。關 欽 哉 東京士

明治三十五年七月卒業

私立政玉會中學 (東京) 川村 孝 東京士  
 長崎縣女子師範學校 足立 啓 東京平  
 愛媛縣今治中學 菅 季 吉愛媛平  
 新潟縣三條中學 秋保親 美山形士  
 新潟縣長岡中學 伊勢寬 一長崎士  
 福島縣會津中學 高橋來 平埼玉平  
 富山縣工業學校 中島次郎 東京平  
 明治三十六年七月卒業  
 福岡醫科大學 永倉 茂 千葉士  
 自 營 西方俊 造 新潟平  
 自 營 久野龜之助 東京平  
 靜岡縣沼津中學 山邊知 臣 福島平  
 私立川端畫學校 (東京) 岡村吉樹 鳥取士  
 農商務省實業練習生(在米國) 大智恒 一 愛媛平  
 山形縣庄内中學 古田土貞治 栃木平  
 校兼染織學校 小貫 廉 東京平  
 清國北京工業學堂 秋野外也 東京士  
 自 營 中島重九 福岡士  
 自 營 腹卷勝太郎 佐賀士  
 自 營 笹島秀彌 山形平

明治三十七年三月卒業

岩手縣福岡中學 葛 揆一郎 岩手士

明治三十七年七月卒業

東京美術學校 松岡輝夫 千葉平  
 山梨縣師範學校 渡邊忠三郎 新潟平  
 新潟縣新潟高等女學校 長峰登良雄 千葉平

明治三十八年七月卒業

自 營 毛利教定 東京平  
 私立石川中學校 (福島縣) 有安助 二 神奈川士  
 群馬縣太田中學 前田千寸 高知平  
 校邑樂分校 自 營 井上良介 山口平  
 文科大學史料編纂掛 護城惠 滿 廣島平  
 鹿兒島縣第一鹿兒島中學校 牧野左武 茨城士

明治三十九年四月卒業 (鈴木雪哉ハ三十年卒業シタルモ再ビ入ルノ課程ヲ修メタリ)  
 私立開成中學校 (東京) 大村友雄 石川平  
 自 營 西村喜三郎 大阪平

福岡縣女子師範學校。水上泰生。福岡士。自。營。橋爪成一郎。石川士。死。亡。後藤茂啓。靜岡士。在英國。小沼直長。野平。新潟縣柏崎中學。平山謙一。東京士。前。出。鈴木雪哉。栃木平。

明治四十年三月卒業

自。營。小泉勝爾。東京士。東京府第一高等女學校。荻生守俊。福島平。自。營。近藤治義。新潟平。大阪府堺市立女子技藝學校。西岡純平。熊本士。大阪府夕陽丘高等女學校。山田廉崎。埼玉平。神奈川縣女子師範學校。多賀谷健吉。東京士。自。營。江村清三郎。香川平。自。營。鹽崎一郎。富山平。自。營。佐々木璋松。新潟平。自。營。相馬治四郎。山形士。自。營。飯島保次郎。神奈川平。栃木縣下都賀郡立高等女學校。榎本省三。東京士。群馬縣前橋中學。森田靜也。福井士。自。營。磯野壽吉。佐賀士。

明治四十年五月卒業

山形縣鶴岡高等女學校。相馬正巳。山形士。自。營。久保薰。歟。愛媛平。

明治四十年七月卒業

ルモ再ビ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ。自。營。三橋信吉。千葉平。前。出。平井富夫。東京士。前。出。山崎勇馬。高知平。

明治四十一年三月卒業

西洋畫科再入學。石坂武一。東京平。新潟縣卷中學校。久保提多。青森士。自。營。野生司述。太香川平。福岡縣八女中學校。伊藤貞夫。新潟平。自。營。大畑二郎。熊本士。新潟縣高田師範學校。武藤直信。石川士。富山縣工藝學校。高桑純吉。石川士。自。營。坂内瀧之助。福島士。

明治四十二年三月卒業

自。營。野原安司。岐阜平。東京府園藝學校。香川敬事。千葉平。自。營。竹田豐太郎。島根平。私立都文館中學。增田久太郎。長野平。



私立鎮西中學。甲斐英雄 熊本士  
新潟縣小千谷中學校。大越直宮 城士  
大分縣臼杵中學校。石川巖 千葉平

明治四十二年六月卒業

岡山市弘西尋常小學校兼深抵尋常小學校。室野琢磨 石川士

明治四十三年三月卒業

私立政玉舎中學校(東京)。川崎隆一 愛知平  
一年志願兵。丹羽賢 京都平

研究科修業中。濱谷榮次郎 富山平  
兵。太田益三郎 福島平

岡山市旭東尋常小學校兼清輝尋常小學校。安井厚 石川士  
福岡縣柳川高等女學校。岡田純二 香川士

私立海城中學校(東京)水産講習所。生野恒太郎 大分平  
(東京)永田米吉 東京平

靜岡縣濱松中學校。朝倉五郎 茨城士

京都府農事試驗場及彰徳小學校。吉田清二 石川平  
一年志願兵。大串喜代次 佐賀平

自營。中島彦 福岡士  
福岡縣朝倉中學校。下林繁夫 熊本士  
兵庫縣柏原高等女學校。小森研二 岐阜平  
兵庫縣伊丹中學校。古東謙吉 兵庫平

自營。小籾寬二 和歌山平  
西洋畫科

明治三十三年七月卒業

自營。窪田喜作 岐阜平  
死亡。椎塚修房 東京士

明治三十四年七月卒業

自營。西伊三次 東京士  
私立滋賀縣天台宗西部中學校。喜多村悅三 茨城士  
東京帝國博物館。平子尙三 重平

明治三十五年七月卒業

清國南京兩江師範學堂。鹽見競 岡山平  
德島縣富岡中學校。大東昌可 福岡士  
建築學會(東京)。松原康雄 岡山士

江田島海軍兵學校。原田竹次郎 山口平  
私立京北中學校(東京)。柴崎恒信 愛媛士  
在米國。金澤悌次郎 北海道平  
大阪陸軍地方幼年學校。五味和十 長野平

清國南京兩江師範學堂。山田榮吉 大阪平  
東京府第三中學校。内野猛 宮崎士  
自營。小西正太郎 秋田平

自 營 小笠原 丁 東京華

明治三十六年七月卒業

千葉縣園藝學校。神子 鐵雄 東京平 自 營。高山六郎 福岡平

自 營。岡 四郎 東京士 自 營。速水不染 大分平

明治三十七年七月卒業

東京美術學校。谷 齊 一 栃木士 大阪府富田林中學校。岩鼻正修 京都士

明治三十八年七月卒業

自 營。橋口 清 鹿兒島士 清國北京大學。野田昇平 鹿兒島士

自 營。薄 拙太郎 福岡平 朝鮮京城民團立高等女學校。丸野 豐 福岡士

自 營。脇坂安之 兵庫華 北海道小樽中學校。關 精 一 茨城平

明治三十九年四月卒業

自 營。人見雪彦 京都士 自 營。辻 永 福岡平

東京美術學校。森田龜之輔 東京平 自 營。江南武雄 北海道平

自 營。西 三 雄 東京士

明治四十年三月卒業

自 營。榎田利雄 愛知平 自 營。秋葉鎌三郎 東京士

自 營。猪飼俊二 愛知平 死 亡。佐藤 勉 宮城士

私立高輪中學校。五島健三 富山平 丹波國篠山私立鳳鳴義塾。陣内貞義 佐賀士

農商務省實業練習生(在伊國)。寺崎武男 東京平 自 營。榎本 彦 東京士

自 營。南 薰 造 廣島平 自 營。永田二郎 埼玉平

在米國。平井武雄 東京平 自 營。斯波義辰 福井士

明治四十一年三月卒業

研究科修業中。中野修二 新潟平 熊本縣鹿本中學校。武藤 直 熊本士

自 營。小林永次郎 栃木平 在白耳國。太田喜二郎 京都平

自 菅。油井忠助 福島平 研究科修業中。吉田 苞 岡山士  
 熊本縣高等女學。美作武雄 熊本士 自 菅。松林千里 福岡士  
 校。香川縣高松中學。島田繁夫 德島平 研究科修業中。川北元英 三重士  
 自 菅。松野 清靜 岡平 福岡縣小倉中學。杉田宇內 愛知平  
 校。埼玉縣相壁中學。世古 溫靜 岡平

明治四十二年三月卒業

研究科修業中。金山平三 兵庫平 研究科修業中。渡邊 軾 新潟平  
 自 菅。有田四郎 熊本士 自 菅。紺野三郎 福島平  
 自 菅。山本兵三 東京士 福岡縣直方高等女學校。宮崎秀勇 大分平  
 自 菅。久米福衛 德島士 研究科修業中。中村元 鹿賀士  
 自 菅。麻生 茂千葉平 自 菅。真田久吉 東京平  
 自 菅。小林德三郎 廣島平 東京美術學校。鹿毛屋藏 福岡士

私立順天中學校及。菊池香三 岩手士 愛媛縣師範學校。上田貞次 新潟士  
 中央工學校(東京)。溝淵盛美 高知平

明治四十三年三月卒業

研究科修業中。田邊 至 東京士 自 菅。加藤靜兒 愛知平  
 自 菅。田中 良 鹿兒島士 研究科修業中。山下 鈞 東京士  
 自 菅。中井金三 鳥取平 研究科修業中。新井 完 兵庫士  
 研究科修業中。長谷川 昇 北海道士 研究科修業中。香田勝太 鳥取平  
 研究科修業中。近藤 浩 山梨平 自 菅。長野靖彦 鹿兒島平  
 自 菅。九里四郎 東京士 研究科修業中。山脇信德 高知士  
 自 菅。藤田嗣治 千葉士 研究科修業中。住谷宗一 群馬平  
 中外商業新報。大谷 浩 岡山平 研究科修業中。清水大助 東京平  
 鳥取縣師範學校。三隅禎三郎 山口平 自 菅。佐々木直哉 岩手士

自 營 北古賀順橋佐賀士 自 營 小川長四郎新潟平  
 一年志願兵 蒲生俊武岐阜平 自 營 大村周二石川平  
 神奈川縣第三中 河野繁市宮崎平 死 亡 井上六郎東京士  
 學校

彫刻科

明治二十六年七月卒業

東京美術學校 大村西崖靜岡平 東京美術學校 白井保次郎愛媛平

明治二十七年二月卒業

奈良縣芳野郡立 職業學校 宮本二七郎廣島士 未 詳 峯 斧 吉佐賀平

明治二十七年七月卒業

日本美術院 新納忠之介鹿兒島士 自 營 龜田德太郎三重平

東京美術學校 黑岩倉吉東京平 自 營 本山辰吉高知士

自 營 ×田中助太郎福岡士 校 東京高等工業學 板谷嘉七茨城平

死 亡 美田 萬壽之介埼玉平

明治二十八年七月卒業

自 營 後 藤省吾和歌山士

明治二十九年七月卒業

自 營 菅原大三郎山形平 福井縣師範學校 ×野村厚生福井士

自 營 鮎澤秀夫長野士 自 營 澤 藤太郎千葉平

明治三十年七月卒業

自 營 天岡均一兵庫士 死 亡 村尾平吉鳥取士

清國北京工業學 堂 信谷友三東京士 自 營 淺野勇次郎愛知平

富山縣工藝學校 上木俊一福井士 自 營 松原象雲熊本平

秋田市立工業徒 弟學校 中川萬次郎熊本平 自 營 賴富新吉香川平

明治三十一年七月卒業

明治三十二年七月卒業

自 營 野口藤三郎 佐賀士 印刷局 木澤 禎和 歌山平  
 自 營 中村直彦 東京士 自 營 渡邊長男 大分士  
 京都市陶器試験場 自 營 三橋 清青 森士 自 營 山本八十三 大阪平  
 自 營 秋山要治 北海道平

明治三十三年七月卒業

東京美術學校 長 愛 之 栃木士 自 營 船井登久太郎 東京平  
 自 營 阿部光治 新潟平 死 亡 石井德千代 東京士

明治三十四年七月卒業(木彫科)

石川縣工業學校 青木外吉 石川士 死 亡 本保義太郎 富山平  
 横須賀海兵團 足立厚實 東京士

明治三十四年七月卒業(塑造科)

自 營 武石弘三郎 新潟平

明治三十五年七月卒業(○印ハ木彫科△印ハ塑造科卒業ヲ示ス)

文部省留學生 △水 谷 鐵 也 東京士 自 營 高村光太郎 東京平  
 (在佛國)

小倉監獄授業手 △島 宗 磨 瑤 雄 新潟平 自 營 石川成錄 静岡士

死 亡 △山 本 筍 一 石川士 自 營 △細 谷 三 郎 群馬士

自 營 △柴 野 健 作 廣島平 死 亡 宮 原 顯 藏 愛媛士

明治三十六年七月卒業(塑造科)

自 營 遠 藤 忠 雄 新潟平

明治三十七年七月卒業

自 營 宮 原 常 二 郎 富山平

明治三十八年七月卒業

香川縣工藝學校 竹 内 友 吉 富山平 死 亡 竹 内 定 吉 富山平

研究科修業中 石川 確 治山形平

明治三十九年四月卒業

自 菅 畑 正 吉 富山士 自

菅 田 中 雄 一 香川平

明治四十年三月卒業

自 菅 小倉右一郎 香川平 自

菅 吉 田 政 一 鳥取平

自 菅 藤 井 浩 祐 東京平

富山縣工藝學校 加 藤 直 泰 富山士

自 菅 勝尾準太郎 石川士

愛知縣土岐郡立 陶器工業學校 吉 田 祥 三 香川平

自 菅 中 村 武 平 香川平 自

菅 武 田 燦 大阪平

明治四十一年三月卒業

農商務省實業練習生(在佛國) 藤 川 勇 造 香川平 自

菅 小 田 慈 善 香川平

自 菅 木 下 多 聞 東京士 自

菅 高 橋 直 人 長野士

自 菅 和 田 嘉 平 次 栃木平 自

菅 蘆 野 廣 東京平

明治四十二年三月卒業

自 菅 朝 蔭 圓 次 郎 愛知平

明治四十三年三月卒業

自 菅 松 村 秀 太 郎 富山平 自

菅 津 村 央 喜 香川平

自 菅 清 水 太 助 東京平

圖按科

明治三十一年七月卒業

內務省造神宮使 井 上 清 千葉平

私立東北中學校 (仙臺) 川 上 爲 之 助 靜岡平

明治三十二年七月卒業

在 米 國。河 邊 正 夫 岡山士

東京美術學校。千 頭 庸 哉 東京士

福井縣福井中學。吉 田 衡 福井士

死 亡。小 檜 山 右 近 福島士

山梨縣甲府中學。伊 藤 啓 次 郎 東京平

農商務省特許局。竹 本 曜 二 東京士

卒業生姓名 圖按科

自 營。久保田 誠次郎 愛媛平  
 靜岡縣師範學校。江島五三郎 東京平  
 明治三十三年七月卒業  
 自 營。大槻 才吉 山形士  
 明治三十四年七月卒業  
 大阪府清水谷高。佐藤健四郎 德島士  
 等女學校  
 明治三十六年七月卒業  
 東京美術學校。小 場 恒吉 秋田士  
 明治三十八年七月卒業  
 富山縣工藝學校。十二町貞吉 富山平  
 自 營。澤田誠一郎 京都平  
 明治三十九年四月卒業  
 帝國鐵道院。人見 鐵三 滋賀士  
 長崎縣對馬中學。小島喜三郎 佐賀士

新潟縣高田高等女學校。松川第八郎 新潟平

(三越) 吳服店。森 垣 榮兵庫士  
 愛知縣第二中學。中久木 富二郎 東京士

明治四十年三月卒業

內 務 省。阪谷良之進 岡山士  
 和歌山縣田邊中學校。鈴木善夫 和歌山士

死 亡。君島金三郎 福島士  
 石川縣工業學校。三野 雅一 香川士

明治四十一年三月卒業

白木屋 吳服店。古田 立次 岡山士  
 (東京)

自 營。島 齊 東京平

自 營。岸 熊 吉 福井平

靜岡縣工業試驗場。仙石 貫造 神奈川平

京都府第五中學。高 澤 雅雄 德島平

長野縣長野中學。別役 良民 高知士

東京瓦斯會社。飯 塚 豐千葉平

香川縣工藝學校。小 川 巽 香川士

大分縣師範學校。有瀬卯來雄 熊本士

明治四十一年六月卒業

青森縣弘前中學。永榮定義 富山平

明治四十二年三月卒業

京都府第一中學。加藤卓爾 新潟平

自營。廣瀬尋常 高知士

栃木縣立岡案調。酒卷貞吉 栃木平

明治四十二年六月卒業

朝鮮總督府中學。日吉守 東京士

明治四十三年三月卒業

藤原商店(東京)。辰巳銀二 石川平

死。山岡隆芳 福島士

三重縣立第三中學校。今野清三郎 宮城平

自營。鈴木範三 東京平

清水組(東京)。寺尾熙一 兵庫平

自營。富本憲吉 奈良平

宮崎縣宮崎郡立職業學校。番匠勇作 石川平

南滿洲鐵道會社。飯田德三郎 山形平

岐阜縣土岐郡立陶器工業學校。窪島政男 山形士

熊本縣人吉小學校。高橋要 岐阜平

自營。中井鉦作 愛知平

彫金科

明治二十七年二月卒業

大阪造幣局。飯田仁三郎 東京平

明治二十七年七月卒業

清國上海商務印書館。角田宇真藏 島根平

明治二十八年七月卒業

尙工社(東京)。岡部覺彌 福島平

明治二十九年七月卒業

自營。田雜五郎 佐賀士

印刷局。福島仲 東京士

明治三十年七月卒業

死。海野豐太郎 東京平

特許代理業(在大阪)。齋藤秀岳 東京士

自營。望月銃三郎 靜岡士

香川縣工藝學校。清水龜藏 廣島平

廣島縣職工學校。山本義雄 東京士

村松工場(東京)。小泉永雄 石川平



東京府工藝學校 山本正三郎 香川平

煙草專賣局伏見  
分工場

山田有方 富山士

明治三十一年七月卒業

內務省造神宮使 廳 蘆澤鴻次 香川士

明治三十二年七月卒業

自 菅 四谷正 美岡山平

明治三十四年七月卒業

自 菅 滑川兼彦 茨城士

菅 海野銀三郎 東京平

自 菅 市島市太郎 東京平

明治三十六年七月卒業

大阪造幣局 野村陸雄 東京士

菅 遠藤諄二 東京士

明治三十八年七月卒業

自 菅 川部榮治 山形士

鍛金科

明治三十二年七月卒業

在 米 國 山下英夫 東京平

明治三十三年七月卒業

東京美術學校 石田英一 佐賀士

菅 曾根 銳 静岡士

金工科(明治三十八年九月ヨリ彫金科鍛金科ヲ合シテ金工科ト改稱ス)

明治三十九年四月卒業

尙工社(東京) 木村第一郎 東京士

明治四十年三月卒業

東京美術學校 八卷於菟三 山梨平

菅 山川茂雄 石川平

自 菅 前田四郎 東京士

明治四十二年三月卒業

研究科修業中 神谷甚一郎 東京平

明治四十三年三月卒業

自 菅 蒲生 鐵 男 福岡平 自 菅 岩崎 文七 岩手平  
自 菅 佐藤 省吾 静岡平

鑄造科 (明治三十八年九月ヨリ鑄金科ヲ鑄造科ト改稱ス)

明治二十七年二月卒業

在安南國 石川 己七雄 北海道士 東京美術學校 櫻岡三四郎 茨城士  
死 亡 宮田 辰太郎 東京士

明治二十七年七月卒業

自 菅 西原 猪太郎 京都平

明治二十八年七月卒業

自 菅 田 中後 治 新潟士 東京海軍造兵廠 染川 浪江 佐賀士  
日本美術社 川 崎 安 神奈川平

明治二十九年七月卒業

長野縣松本中學 武井 眞澄 長野平

明治三十年七月卒業

東京美術學校 香取 秀治郎 千葉平 東京府工藝學校 山本 茗次郎 石川平  
自 菅 叔井 菊治郎 京都平 農商務省實業練習生(在米國) 松田 鹿三 愛知士

明治三十一年七月卒業

東京瓦斯會社 鈴木 一宮 城士 東京美術學校 坂口 朧 東京士

明治三十二年七月卒業

自 菅 香田 麟 橋 佐賀士 在米國 江良 剛 治 熊本士  
自 菅 松橋 宗明 岩手士 自 菅 戸原 鹿之助 福岡士

明治三十三年七月卒業

東京美術學校 津田 信夫 千葉士 東京高等工業學校 八戸 豐 大阪平

明治三十四年七月卒業

在米國 新免教太郎 岡山平

明治三十九年十一月卒業

自 營 永島三郎 千葉平

明治四十一年三月卒業

一年志願兵 淺井定吉 東京平

明治四十二年三月卒業

自 營 山本貞治 新潟平

明治四十三年三月卒業

研究科修業中 岡崎文衛 東京平

漆工科

〔明治二十二年二月開校ノ時漆工科ヲ置キ同二十五年十一月十九日時給科ト改稱シ同二十九年七月八日ニ至リ復タ漆工科ト稱ス〕

明治二十六年七月卒業

自 營 津田良次郎 富山平

自 營 六角注多良 東京平

明治二十七年二月卒業

青森縣立弘前高等女學校 石川準禮 石川士

死 亡 津村米太郎 愛知士

自 營 秋月復郎 宮崎士

農商務省特許局 武谷富造 東京士

明治二十七年七月卒業

東京美術學校 石井吉次郎 東京士

死 亡 山本和 東京士

明治二十八年七月卒業

自 營 玉井正申 愛媛士

自 營 内藤源太郎 東京士

明治二十九年七月卒業

自 營 辻村延太郎 神奈川平

香川縣工藝學校 國重篤介 山口平

自 營 河村博亮 山口平

在安南國 石河壽衛彦 岡山士

自 營 中島袈裟彦 佐賀士

自 營 松田爲賀 鹿兒島士

靜岡縣工業試驗場

明治三十年七月卒業

自 營 磯矢邦之助 大阪平  
宮城縣工業技手 萩原元次郎 静岡平  
明治三十七八年 氏家 靜 修 岩手平  
奉天ノ役戰死

明治三十一年七月卒業

死 亡 蒔 田 實 新潟士  
福島縣工業學校 兒 島 明 静岡士

明治三十二年七月卒業

熊本縣龍託郡立 澤 木 彦 門 福井士  
工業徒弟學校 自 營 三 村 耕 三 東京士  
自 營 土井藤四郎 三重平 自 營 吉 澤 仲 東京平

明治三十三年七月卒業

自 營 前 川 佐 一 佐賀平  
石川縣工業學校 藤 岡 金 吾 東京平

明治三十五年七月卒業

青森縣工業試驗 小 岩 峻 岩手士

明治三十七年七月卒業

東京美術學校 堀 井 政 吉 富山平  
和歌山縣黑江漆 器徒弟學校 佐 野 常 榮 石川士

明治三十八年七月卒業

青森縣八戸町立 常 木 新 藏 福島平  
工業徒弟學校

明治三十九年八月卒業

自 營 吉 田 彌 太郎 東京士  
鳥取縣氣高郡立 岡 本 尙 市 鳥取平  
工業徒弟學校

明治四十年三月卒業

清國福州福建工 原 田 謹 次 郎 愛知平  
三重縣桑名町工 業試驗場 福 田 淡 岡山士  
藝廠

明治四十一年三月卒業

自 營 相 馬 格 平 新潟平  
石川縣工業學校 吉 田 秀 男 石川平  
一年志願兵 井 上 大 次 郎 富山平  
香川縣工藝學校 甲 谷 公 香川士  
自 營 安 江 雅 勝 石川平

卒業生姓名 漆工科

自 營 石塚 章廣島士 死 亡 笠井彌市東京平

明治四十一年六月卒業

秋田市立工業徒 杉本誠 三石川士

明治四十二年三月卒業

自 營 高中文助廣島平 死 亡 磯矢隆之東京平

明治四十二年六月卒業

自 營 龜山喜太郎香川平 在 英 國 豐島銳郎靜岡平

明治四十三年三月卒業

自 營 三木 榮群馬士 研究科修業中 吉野富雄千葉平

自 營 長谷川 源太郎富山平

圖畫師範科

明治四十三年三月卒業

東京美術學校。波根義三山口士 三重縣立第一中學校。森田清次郎岩手平

大分縣大分高等女子師範學校。高橋貞治富山平 朝鮮仁川小學校。柴田勝次愛知平

廣島縣三原女子師範學校。三尾與喜藏岐阜平 大坂市浪華小學校。小菅敬左右大阪平

京都府女子師範學校。郷原藤一郎長野平 佐賀縣師範學校。前園正八郎鹿兒島平

秋田縣秋田高等女子師範學校。我妻榮吉山形平 鹿兒島縣女子師範學校。末光富造大分平

長野縣松本女子師範學校。藤岡龜三郎新潟平 富山縣師範學校。山村誠一郎長野士

長崎縣佐世保中學校。德永吾七郎熊本平 千葉縣東金高等女子學校。太田久男佐賀士

廣島縣三次中學校。三宅宅三岡山平 富山縣瀨波中學校。藍野精一千葉平

島根縣杵築中學校。安岡信義島取士 鹿兒島縣川邊中學校。山本 淳高知平

日本畫撰科

明治二十六年七月卒業

自 營 本多佑輔東京士

卒業生姓名 圖畫師範科 日本畫撰科

明治二十八年二月卒業

自 營 德田 鎬一 靜岡平

明治二十八年七月卒業

自 營 赤羽 知足 長野平

明治三十一年七月卒業

國光社(東京) 狩野 誠信 東京士 死 亡 河津 祐信 東京士

明治三十二年七月卒業

自 營 御船 綱手 大阪平 國民新聞社 平福 貞藏 秋田平 (東京)

自 營 小山 亮 茨城平

明治三十三年七月卒業

自 營 小倉 善三郎 岡山平 自 營 筆谷 儀三郎 北海道平

校 靜岡縣靜岡中學 土佐 光一 京都士

明治三十四年七月卒業

自 營 渡邊 吉太郎 福井士 (三越) 吳服店 杉浦 朝武 愛媛士 (東京)

死 亡 田中 重次郎 福島士 (三越) 吳服店 磐瀨 純 東京士 (東京)

死 亡 森川 安次 富山平 自 營 植松 雅行 京都華

自 營 村崎 政利 熊本士 自 營 村上 金次郎 東京士

明治三十五年七月卒業

自 營 淺野 春二 京都平 自 營 金井 忠三 長野平

自 營 後藤 浪吉 東京平 在 清 國 大聖寺 宗三郎 京都平

自 營 田中 忠彦 廣島平 自 營 鈴木 久治 秋田平

自 營 横山 新太郎 神奈川平 自 營 高井 清 東京平

明治三十六年七月卒業

研究科修業中 伊藤 繁延 東京士 自 營 田中 和一 東京平

大阪府堺市高等女學校 長谷川 綠邦 福島平 研究科修業中 吉原 義雄 東京平

自 菅 福岡 義雄 東京士 三越吳服店(東京) 澤津 昌利 島根平

宮崎縣都城中學 橫山 爲雄 秋田士 死 亡 金原 利一 千葉士

佐賀縣立高等女學校 井芹 市次 熊本平

明治三十七年七月卒業

女子美術學校(東京) ×益 田 珠城 宮崎士 山口縣山口中學 ×佐 治 友 八 福島平

審美書院(東京) 植松 盛之助 長野平

明治三十八年七月卒業

白木屋吳服店(東京) 勝 田 良雄 福島士 自 菅 三 浦 孝 東京士

自 菅 金子 朔太郎 東京士 自 菅 古賀 源四郎 佐賀平

自 菅 木村 鏡吉 京都平 自 菅 伊藤 豐吉 東京平

橫濱貿易新聞社 石島 文太郎 茨城平 自 菅 吉田 正七 靜岡士

廣島縣廣島高等女學校 ×水谷 四郎 長野平

明治三十九年四月卒業

自 菅 平 田 榮二 山形華

自 菅 平木 彌一郎 石川平

明治三十九年六月卒業

自 菅 多 田 雄三 千葉平

明治四十年三月卒業

自 菅 桐谷 長之助 東京士 自 菅 山 村 豐成 東京平

自 菅 永井 幾麻 愛知平 自 菅 中 川 龍兵 庫士

明治四十年五月卒業

自 菅 福 富 常三 東京平

明治四十一年三月卒業

自 菅 內山 波之輔 長野平 自 菅 小 林 源太郎 東京平

卒業生姓名 日本書撰科

自 菅 水島爾保布 東京士 自 菅 空閑陽 樹福岡平  
自 菅 小村泰助 埼玉士 自 菅 古田正記 熊本士

明治四十二年三月卒業

自 菅 宮坂春章 長野平

明治四十三年三月卒業

研究科修業中 山内金三郎 大阪平 自 菅 蔦谷幸作 青森平

自 菅 安村行雲 福岡平 自 菅 大久保應洋 福井士

自 菅 野口安太郎 富山平

西洋畫撰科

明治三十年七月卒業

東京美術學校 和田英作 鹿兒島士

明治三十一年七月卒業

自 菅 白瀧幾之助 兵庫平 自 菅 湯淺一郎 群馬平

東京美術學校 小林萬吾 東京平 自 菅 北蓮藏 岐阜平

德島縣德島中學 丹羽林平 東京平

明治三十二年七月卒業

大阪毎日新聞社 廣瀬勝平 兵庫士 大阪朝日新聞社 赤松麟作 大阪平

自 菅 山本森之助 長崎平 自 菅 田中寅三 滋賀士

死 亡 濱中鐵也 東京平

明治三十三年七月卒業

自 菅 中澤弘光 東京士 自 菅 矢崎千代治 神奈川平

私立女子美術學校(東京) 磯野吉雄 東京平 自 菅 玉置照信 和歌山平

自 菅 庄野宗之助 福岡士 自 菅 萩生田文太郎 北海道平

自 菅 大牟禮時艾 鹿兒島士 自 菅 海老名明四 愛知士



自	營	江間良吉	靜岡平	自	營	根津文吉	東京平
自	營	佐藤醇吉	岩手平	死	亡	大倉正愛	福岡士
自	營	藤村知子	多東京士	校	茨城縣土浦中學	石田益敏	靜岡士
明治三十四年七月卒業							
自	營	岡吉	枝三重士	時事新報社	倉田重吉	東京平	
自	營	八條彌吉	大阪平	自	營	龍田精三	東京平
校	熊本縣玉名中學	友枝	安熊本士	自	營	出口清三郎	東京平
自	營	井上雄太郎	栃木平	自	營	城勉一郎	岩手士
自	營	岡本	勤東京士				
明治三十五年七月卒業							
自	營	宇和川通喩	北海道平	在	米國	戶田謙二	石川士
自	營	池上甚三郎	岡山平	自	營	森川松之助	東京平

自	營	時任雕熊	鹿兒島士	自	營	佐藤均	宮城士
自	營	前田慶次郎	福岡平	自	營	岡野榮	東京士
自	營	大八木一郎	京都士	自	營	吉澤喜作	東京平
明治三十六年七月卒業							
自	營	小林鍾吉	東京士	自	營	郡司卯之助	茨城平
校	栃木縣佐野中學	三井由太郎	滋賀士	自	營	安藤靜也	岐阜平
自	營	蘆原曠	北海道士	學	愛知縣立第三中學校	立見淑	千葉士
自	營	跡見泰	東京平	在	佛國	橋本邦助	栃木平
自	營	森岡柳藏	鳥取平	自	營	渡邊亮輔	宮城平
明治三十七年七月卒業							
自	營	熊谷守一	岐阜平	文部省留學生	和田三造	福岡士	
校	沖繩縣沖繩中學	關屋敬次	栃木平	自	營	青木繁	福岡士

自 菅 坪田虎太郎 富山士 自 菅 深見和成 東京士  
 熊本縣天草中學 高木 巖 靜岡士 自 菅 伊達五郎 東京華  
 在 佛 國 兒島虎次郎 岡山平 自 菅 山下新太郎 東京平

明治三十七年十二月卒業

自 菅 多田光三郎 東京平

明治三十八年七月卒業

私立早稻田大學 岸 畑久吉 三重平 自 菅 久萬盛 幸高知士  
 在 佛 國 齋藤 豐作 埼玉平 自 菅 龜山克己 東京士  
 自 菅 飯澤傳之丞 山形平

明治三十九年四月卒業

太平洋通信社 森 田恒友 埼玉平 自 菅 山本 鼎 愛知平  
 (東京) 兵庫縣豐岡中學 野 口峯吉 長崎平 自 菅 村上爲 俊 愛媛士

自 菅 高島七郎 福井平 自 菅 大給近清 東京華  
 自 菅 岡直 路 岡山士 自 菅 大槻式雅 東京士  
 自 菅 今關胤雄 千葉平

明治四十年三月卒業

自 菅 マリー、イーストレーキ 亞米利加 自 菅 正宗得三郎 岡山平  
 自 菅 渡邊省三 廣島士

明治四十一年三月卒業

自 菅 松井英次郎 新潟士 自 菅 尾崎彦麿 三重士  
 自 菅 齋藤五百枝 千葉士 自 菅 三浦 哲 東京士  
 自 菅 小川千藏 東京平 自 菅 北村重樹 栃木平  
 自 菅 富永勝重 徳島平 自 菅 久野延太郎 栃木平  
 自 菅 高田正雄 福岡士 自 菅 伊藤直和 東京士

白木屋 吳服店 宮川 安信 滋賀平 自 營 平野 馨 二 愛知平

明治四十二年三月卒業 自 營 安藤 東一郎 富山平 校 福島縣磐城中學 小倉 三郎 大分平

明治四十三年三月卒業 研究科修業中 安宅 安五郎 新潟平 自 營 伊島 正三郎 香川平

自 營 兒玉 末男 東京平 自 營 望 月 桂 長野平

自 營 岡本 一平 東京平 自 營 西 長 純 鹿兒島士

自 營 柴田 三郎 山口士

彫刻撰科

明治二十七年二月卒業 自 營 小和田 武司 東京士

明治二十七年七月卒業

自 營 增田 有信 宮城士

明治二十八年二月卒業 自 營 小泉 德治 東京士 自 營 名倉 復四郎 東京士

明治三十三年七月卒業

農商務省實業練習生(在佛國) 前島 交吉 東京士 自 營 山田 政治 東京平

自 營 佐藤 八百 東京士 自 營 小林 正次郎 新潟平

自 營 森山 勝郎 東京士 自 營 安田 久吉 東京平

自 營 千葉 胤恒 宮崎士

明治三十四年七月卒業

自 營 山崎 巳之助 東京平 東宮御所御造營 横田 秀一 東京士

明治三十五年七月卒業(木彫撰科)

自 營 後藤 良 東京士 自 營 今戶 精司 大分平

德島縣工業學校 佐藤利三郎 香川平

明治三十六年七月卒業(○印ハ木彫撰科△ハ塑造撰科卒業ヲ示ス)

自 替。毛利 教武 東京平 自 替。明珍 恒男 東京士

自 替△杉 本 傳愛 媛平

明治三十七年七月卒業

自 替 內 藤 伸 島根平 自 替 田 中 親 光 東京士

自 替 田 口 幸 三 岡山士 在 佛 國 稻 垣 吉 藏 新潟平

明治三十八年七月卒業

清國北京工業學 堂 來海 篤 次郎 島根平 自 替 田 嶋 珪 三 福井平

在 米 國 佐々木 榮 多 神奈川士

明治三十九年四月卒業

自 替 川 上 邦 世 東京士 自 替 服 部 喜 一 郎 山形平

自 替 田 中 良 雄 東京平

明治四十年三月卒業

自 替 朝 倉 文 夫 大分平 自 替 池 田 勇 八 香川平

死 亡 佐 野 長 吉 東京平

明治四十一年三月卒業

自 替 小 林 定 治 郎 東京平 東京府工業學校 相 羽 彦 次 郎 靜岡平

自 替 佐 藤 金 次 郎 東京平 研究科修業中 矢 守 一 生 三重士

自 替 淨 土 太 四 郎 富山平 自 替 牧 田 重 雄 福島士

自 替 相 馬 越 二 東京士

明治四十二年三月卒業

自 替 近 藤 三 四 大阪平

明治四十三年三月卒業

卒業生姓名 彫刻撰科

研究科修業中 石井鶴三 東京平 研究科修業中 井上直伍 岡山平

自 營 牧野國助 香川平 死 亡 朝倉靜麻 岡山平

圖按撰科

明治三十三年七月卒業

自 營 奧山 保茨城士

明治三十六年七月卒業

橋本組(東京) 森田 洪群馬士

明治三十九年四月卒業

東京美術學校 磯野富之助 富山士

明治四十年三月卒業

東洋烟草會社 杉浦恭二 東京士

彫金撰科

明治二十七年二月卒業

自 營 大野 和歌三郎 東京平

明治三十三年七月卒業

東京府工藝學校 瀧本友太郎 東京平

明治三十四年七月卒業

大阪造幣局 佐藤 馨 東京士 自 營 池田芳太郎 京都平

明治三十五年七月卒業

死 亡 筧 定次 茨城士 自 營 中里則光 東京平

自 營 加納 秋三 東京平 自 營 伊澤貞吉 東京士

明治三十六年七月卒業

自 營 紹美英之助 京都平 自 營 鈴木義彦 東京平

明治三十七年七月卒業

自 菅 小林友吉 東京平 自 菅 永戸駒彦 東京平

自 菅 小林達實 東京平 自 菅 玉川健太郎 新潟平

明治三十八年七月卒業

死 亡 前田耕治 香川平 自 菅 正木金吉 東京士

鍛金撰科

明治三十三年七月卒業

死 亡 遠井藤太郎 東京平

明治三十五年七月卒業

自 菅 柚木房吉 福岡士

金工撰科(明治三十八年九月ヨリ彫金撰科鍛金撰科ヲ合シテ金工撰科ト稱ス)

明治三十九年四月卒業

自 菅 藤島三郎 福岡士 自 菅 濱野鶴三郎 東京平

自 菅 白鳥茂昌 東京士

明治四十年三月卒業

秋田市立工業徒 弟學校 細川忠亮 香川平

明治四十一年六月卒業

自 菅 岸原哲藏 長崎士

明治四十二年三月卒業

自 菅 堀井董 東京平

明治四十三年三月卒業

自 菅 原田縫吉 東京平 研究科修業中 チヤルン、スラナート 暹羅國

鑄造撰科(明治三十八年九月ヨリ鑄金撰科ヲ鑄造撰科ト改稱ス)

明治三十三年七月卒業

香川縣工藝學校 正清徳三郎 熊本平

明治三十四年七月卒業

在米國 岡島辰五郎 福井平 死 亡 桑原 陶島取士

明治三十五年七月卒業

在米國 伊藤龍吉 東京士

明治三十六年七月卒業

自營 山本久次郎 石川平

明治三十七年七月卒業

彫刻撰科ニ出ツ 小林正次郎 新潟平

明治三十八年七月卒業

彫刻撰科ニ出ツ 横田秀一 東京士 自營 重田進十郎 愛媛平

明治三十九年四月卒業

農商務省實業練習生(在米國) 鈴木 清 東京士

明治四十一年三月卒業

自營 齋藤作 吉山形平

明治四十一年四月卒業

自營 渡邊行 義栃木平

明治四十二年三月卒業

釜石鐵工所 平岡直平 靜岡平

漆工撰科(△印ハ調漆法ノミヲ修メタルモノ)

明治三十四年七月卒業

自營 △藤川房造 香川平

明治三十五年七月卒業

清國北京工業學堂 岩瀧多磨 千葉士

明治三十六年七月卒業

自 菅 守田八郎 石川平

明治三十八年七月卒業

自 菅 井ノ口 徳次郎 東京平

明治三十九年七月卒業

農商務省工業試験所 澤口 悟 一宮城平

明治三十九年八月卒業

自 菅 市島富太郎 新潟平

明治四十年三月卒業

自 菅 竹森三治 香川平

明治四十一年三月卒業

自 菅 河面冬一 廣島平

明治四十三年三月卒業

自 菅 オンブ、ワナート 暹羅國

圖書講習科

明治三十二年七月修了

岡山縣津山高  
等女學校 長澤政宜 奈良士

明治三十四年七月修了

神奈川縣師範學  
校 西松園 三岐阜平

明治三十五年七月修了

大分縣大分中  
校兼高等女學校 松本弘大分平

徳島縣脇町中  
校 瓜生英夫 福岡平

明治三十七年七月修了

山形縣酒田高  
等女學校 本間良助 山形士

死 亡 田中只八 長崎平

長野縣長野高  
等女學校 金井義司 長野平

朝鮮漢城高等  
女學校 兒島元三郎 岡山平

山形縣米澤高  
等女學校 菊地整吾 宮城平

卒業生姓名 圖書講習科



明治三十八年三月修了

三重縣師範學校 × 平 林 俊 吉山形士

明治三十九年九月修了

千葉縣大多喜中學校 × 有 賀 平 治 山形士 大阪府梅田高等女學校 × 淺 井 重 一 大阪士

特別ノ課程(普通圖畫教員タルノ課程ニシテ明治二十五年十一月之ヲ廢シタルモ當時ノ現在員ニ限リ舊規則ニ依レリ)

明治二十四年七月卒業

京都府女子師範學校 竹 内 次 郎 三重士 福岡縣師範學校 廣川榮三郎 福岡士

大阪府岸和田中學校 山 崎 競 三重士

明治二十五年二月卒業

國華社(東京) 村 山 旬 五 東京平 明治三十七八年奉天ノ役戰死 木 村 良 吉 富山士

東京帝室博物館 齋 藤 謙 東京士 秋田縣師範學校 吉 田 金 吉 福島平

死 七 船 田 虎 藏 鳥取平

明治二十五年七月卒業

京都府師範學校 谷 鏢太郎 東京平 奈良女子高等師範學校 横山常五郎 長野平

奈良縣郡山中學校 平 川 松 喜 熊本士 死 亡 奥 山 元 昇 岡山平

北海道札幌中學校 林 竹 治 郎 宮城平 自 營 鷹 田 其 石 富山平

廣島縣福山中學校 大 塚 泰 富山平 死 亡 永 井 實 治 鹿兒島士

福井縣小濱中學校 島 田 里 喜 藏 三重士 自 營 大 橋 郁 太 郎 岡山平

栃木縣宇都宮中學校 渡 部 織 衛 新潟平 長野縣師範學校 芳 川 廷 輔 埼玉士

獨逸協會學校 木 元 平 太 郎 大分士 自 營 中 村 安 太 郎 富山士

明治二十六年七月卒業

死 亡 福 原 岱 郎 熊本士 香川縣丸龜中學校 中 山 米 藏 香川士

早稻田中學校(東京) 山 口 大 藏 千葉士 岩手縣福岡中學校 高 橋 政 美 青森士

自 營 木 下 眞 藏 熊本士

卒業生姓名 特別ノ課程

各科生徒級別現員表

明治四十三年十一月三十日調

科別	科									
	日本洋	本洋	洋	本	日	西	日	金	金	日
別	洋	本	洋	本	日	西	日	金	金	日
第一	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第二	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
第三	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
第四	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
卒業	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

各科生徒道府縣別表

明治四十三年十一月三十日調

道府縣	科									
	日本	西洋	彫刻	圖案	金工	鑄造	漆工	撰	師範	研究
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
備	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
考	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
示	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ス	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

各科生徒級別現員表 全道府縣別表



各科卒業生就業別表 明治四十三年十一月三十日調

種別	道府縣				計
	道	府	縣	日本	
東京美術學校				七	七
各省直轄學校				三	三
師範學校				四	四
女子師範學校				一	一
私立大學				一	一
中等學校				一	一
高等女學校				一	一
技藝學校				一	一
計	七	三	四	一	一五

種別	道府縣				計
	道	府	縣	日本	
女子技藝學校				二	二
實業學校				二	二
小學校				一	一
官廳				一	一
文部省留學生				一	一
實業練習生				一	一
在外國者				一	一
會社商店				一	一
公私諸會				一	一
兵隊				一	一
再入學				一	一
研究科在學				一	一
自費留學				一	一
職死				一	一
未詳				一	一
合計	二	二	一	一	六

各科卒業生就業別表

在外國者中ニハ學校教員、自費留學、各工場招聘者等ヲ含メリ